

平成19年

# 消防年報



平成20年刊行

福知山市消防本部

## は し が き

この年報は、福知山市の消防現勢及び平成19年中の消防行政に関する実態を統計的に集録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く紹介するため編集したものです。

この年報により、本市の消防業務を御理解いただき、なお一層の御指導と御支援をいただきますようお願い申し上げます。

この年報のうち、予算関係は会計年度とし、それ以外のものについては、当該表に記載した年月日によるものです。

平成20年10月

福知山市消防本部

表紙写真

平成19年 消防防災フェア

# 福知山市市民憲章

## しあわ い 幸せを生きる

わたしたちは、ふるさと福知山を“幸せの舞台”にします。

みずきよ ゆらがわ みどりこ やまやま い か ひとびと  
水清い由良川、緑濃い山々、行き交う人々。

生き生きとして、伸び伸びとしたふるさつをつくりまします。

わたしたちは、ひとりひとりのなか

じんせい じゆうで うつく 美しいものにする ちから も  
人生を自由で美しいものにする力を持っています。

そのわき出る ちから あつ しま あい いのち とくと  
そのわき出る力を集め、四季を愛し、命を尊び

とも しあわ い  
共に幸せを生きる。

平成3年4月1日制定

## 市民憲章とは

毎日の生活の中で、福知山市民一人ひとりの心のよりどころとなり、行動の礎になるよう定められた市民生活の規範となるものです。

この憲章には、よりよい地域づくり、魅力あるふるさとづくりのため、市民一人ひとりが、互いに助け合い思いやりあるあたたかいまちづくり、文化の香り高い魅力的なまちづくりをすすめる願いがこめられています。

## 憲章文の解説

“幸せ”とは何か。“わたし”は、どんな時、幸せを感じますか。どうすれば“みんな”が幸せを感じることができるでしょうか。幸せづくりについて考え、語りあい、励ましあって行動する、これがこの憲章文のテーマです。

まず、自分の人生を自由で美しいものにできるわたしから、幸せづくりをはじめましょう。そして、その幸せづくりを身近な人たちと一緒に広げましょう。一人ひとりから家族へ、地域へ、そして市全体へ、幸せづくりの輪を広げていきましょう。

そうすることが、みんなが“幸せを感じるまち”につながります。また、“みんなが誇れるまち”につながっていきます。

まずは、わたしから、身近なことから、幸せづくりをはじめましょう。



福 知 山 市

## 目 次

### 総 務

市勢	1
管内の情勢	2
消防機構	3
消防庁舎の概要	3
福知山市位置・管内案内図	4
消防の沿革	5
消防予算	10
消防職員の定員及び現在員数	11
消防職員階級別年齢状況	12
消防職員階級別勤続年数	12
事務分掌	13
消防相互応援協定の締結状況	15

### 警 防

消防本部・署別消防自動車現勢一覧	16
消防水利の状況	17
火災概要	18
累年火災比較（10年間）	19
署・分署別火災発生状況	20
地区別火災発生状況1	21
地区別火災発生状況2	22
月別火災発生状況1	23
月別火災発生状況2	24
曜日・時間別火災発生状況	25
曜日・時間別火災発生状況グラフ	26
気象別火災発生状況	27
火災原因別調べ	28
救急概要	29
署・分署別出動件数・搬送人員グラフ	30
月別救急活動状況	31
時間別事故種別搬送人員	32
年齢区分別事故種別搬送人員	33
傷病程度別性別事故種別搬送人員	34
傷病程度別年齢区分搬送人員	34
過去10年間における救急出動の推移	35
救助概要	36
機械器具等の保有状況	37

## 予 防

防火対象物の状況	39
建築同意事務署・分署別件数	40
建築同意事務業態別棟別件数	40
消防用設備等検査状況	41
危険物施設の状況	42
危険物申請の状況	43
危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱の数	43
手数料徴収状況	43
火災予防条例等各種届出件数	44
立入検査実施状況	44
防火指導状況	45
広報活動状況	45
幼年消防クラブ活動状況	46

## 通信指令室

覚知別集計	47
地区別指令状況	48
月別指令状況	48
消防通信指令施設の現況	49
消防通信指令系統図	50

## 消 防 団

消防団の沿革	51
消防団員・消防車両配置表	55
年齢別消防団員数	55
在職年数別消防団員数	55

## 水 防

水防の概要	56
水防組織と機構	57

# 総務



平成19年 消防防災フェア

## 市 勢

### 【位 置】

福知山市は、京都府の北西部、由良川が貫流する福知山盆地の中央に位置し、丹波・丹後・但馬により形成される「三たん地域」の中央部にあります。また、京都市・大阪市及び神戸市から70km前後のほぼ等距離にあつて、JR山陰本線・福知山線及び北近畿タンゴ鉄道（KTR）宮福線並びに舞鶴若狭自動車道、国道9号・175号・176号・426号・429号など広域幹線交通網の結節点となっており、京阪神と山陰・丹波地方を結ぶ北近畿の玄関口としての立地条件にあります。

### 【沿 革】

福知山市は、旧石器時代・縄文時代草創期などの遺跡が多数あり、この地方に人が住み始めた歴史が古いことを物語っています。

当地方は、京の都に近い関係もあり、古代から戦国時代にかけて中央の政変に大きな影響を受け、当地の歴史にもかなりの興亡のあとがみられます。

天正7（1579）年に明智光秀が丹波を平定し、福知山はその頃より城下町としての形態を整え、その後、明治4（1871）年の廃藩置県まで、300年近く城下町として繁栄しました。

明治に入り、22年には町村制の施行に伴い福知山町が誕生し、31年には歩兵20連隊が設置され軍都としての性格を強める一方、32年には大阪～福知山間、43年には京都～福知山間に鉄道が敷設されて北近畿の交通の要衝となり、商都としての発展をみました。

そして、昭和12年には府下で2番目に市制を施行するとともに、昭和18年には由良川改修工事が起工、昭和24年には旧電電公社の福知山電報電話局が開局、さらにその翌年には旧国鉄の福知山鉄道管理局が開局、警察予備隊（現在の陸上自衛隊）が駐屯を開始するなど、本市の骨格形成が進みました。

その後、本市発展の上で最大の課題である由良川等の河川改修と並行して、逐次都市整備が進められ、昭和49年には、内陸工業団地としてはわが国有数の規模を誇る長田野工業団地が完成し、新たな産業発展の基盤が形成されました。

また、近年では、阪神地域と北近畿地域を結ぶ舞鶴若狭自動車道が本市を經由するとともに、北近畿タンゴ鉄道（KTR）宮福線・宮津線の福知山～天橋立間の電化・高速化、JR福知山線の新三田～篠山口間の電化及び複線化、JR山陰本線の園部～福知山間の電化・高速化、国道9号線土師バイパスの建設などにより広域交通網の整備が飛躍的に進展し、さらに岡・駅南地区の国道9号線拡張に着手することにより北近畿の交通の要衝としての位置付けを一層高めつつあります。

一方、こうした広域交通体系の整備と併行して、土地区画整理事業や下水道事業・都市計画道路等の整備を先進的に進めており、福知山駅周辺地域については、新しい都心地区の形成を目指

した鉄道の高架と駅南北の区画整理事業、市民の命と健康を守る拠点施設である市民病院の全面改築を進めるなど、積極的に都市基盤の充実を図っています。また、中心市街地においては、鉄道をテーマに活性化に向けたまちづくりに取り組んでおり、さらに北近畿初の4年制大学である京都創成大学の開学をはじめ、文化・スポーツ・レクリエーション活動の拠点となる三段池カルチャーパークや福知山城を中心とした公園の整備に取り組んでいます。

また、地球規模で進む環境問題に対応するため循環型社会の構築を目的に、「リサイクルプラザ」を本格的に稼働させ、資源ゴミの循環的な再利用、環境保全の推進に取り組んでいます。



福知山市は、平成18年1月1日に福知山市、三和町、夜久野町及び大江町において合併し、新しい「福知山市」としての第一歩を踏み出すとともに、昭和12年に市制を施行して以来70周年の節目の年を迎え、自然に包まれ人々で賑わい、心豊かに暮らすことのできる『北近畿の都』としての風格漂うまちづくりを推進しています。

#### 管内の情勢

(平成20年4月1日現在)

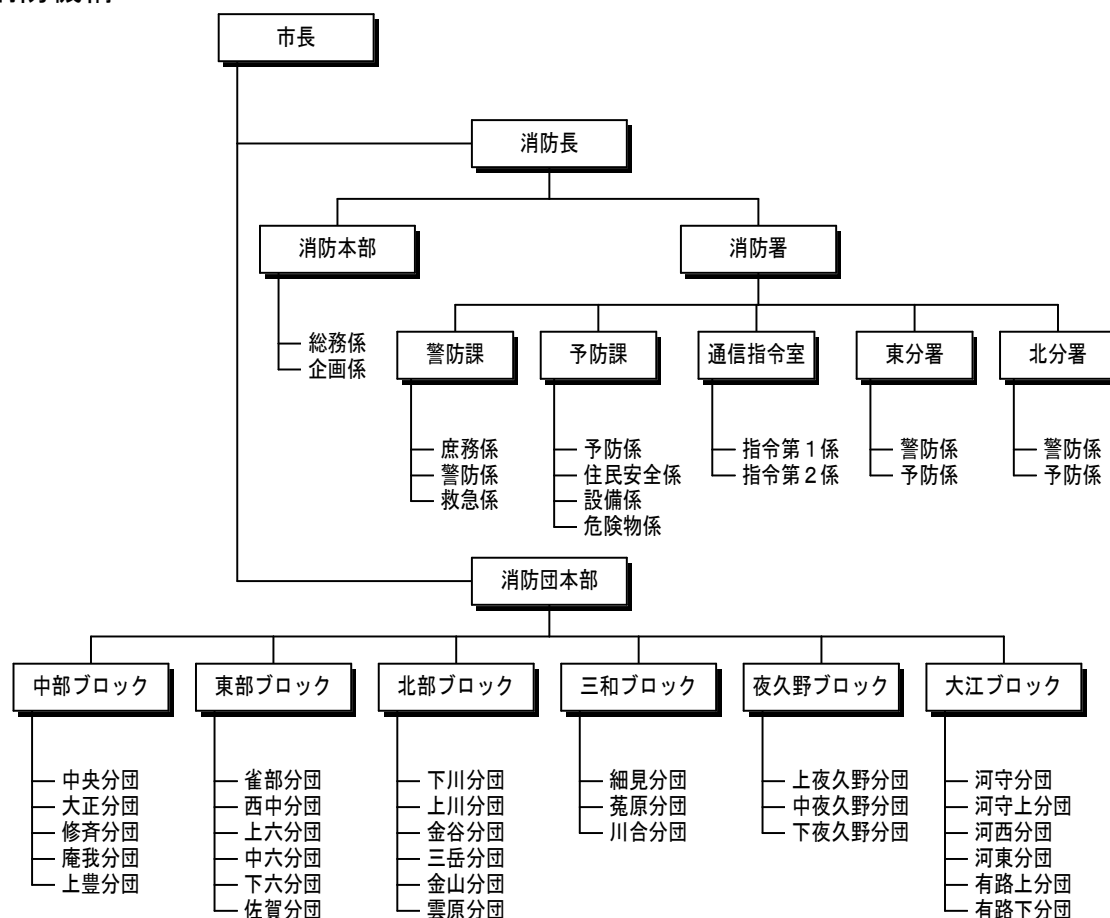
	面積 (k m <sup>2</sup> )	人口 (人)	世帯数 (世帯)
福知山市	552.57	82,425	33,915
消防職員一人あたりの割合 (職員数104人)	5.3	792.5	326.1

周囲 (km)	広ぼう (km)		海拔 (m)		市役所の位置	
	東西	南北	最高	最低	東経	北緯
174.2	37.1	34.3	839.17	7.11	135° 07'	35° 17'

市の木	市の花	市の鳥	キャラクター
ケヤキ	サツキ	ウグイス	ドッコちゃん
カシ	キキョウ	キジ	
ヒノキ	ハギ		酒呑童子
ウメ	レンゲツツジ		
	フジ		



## 消防機構

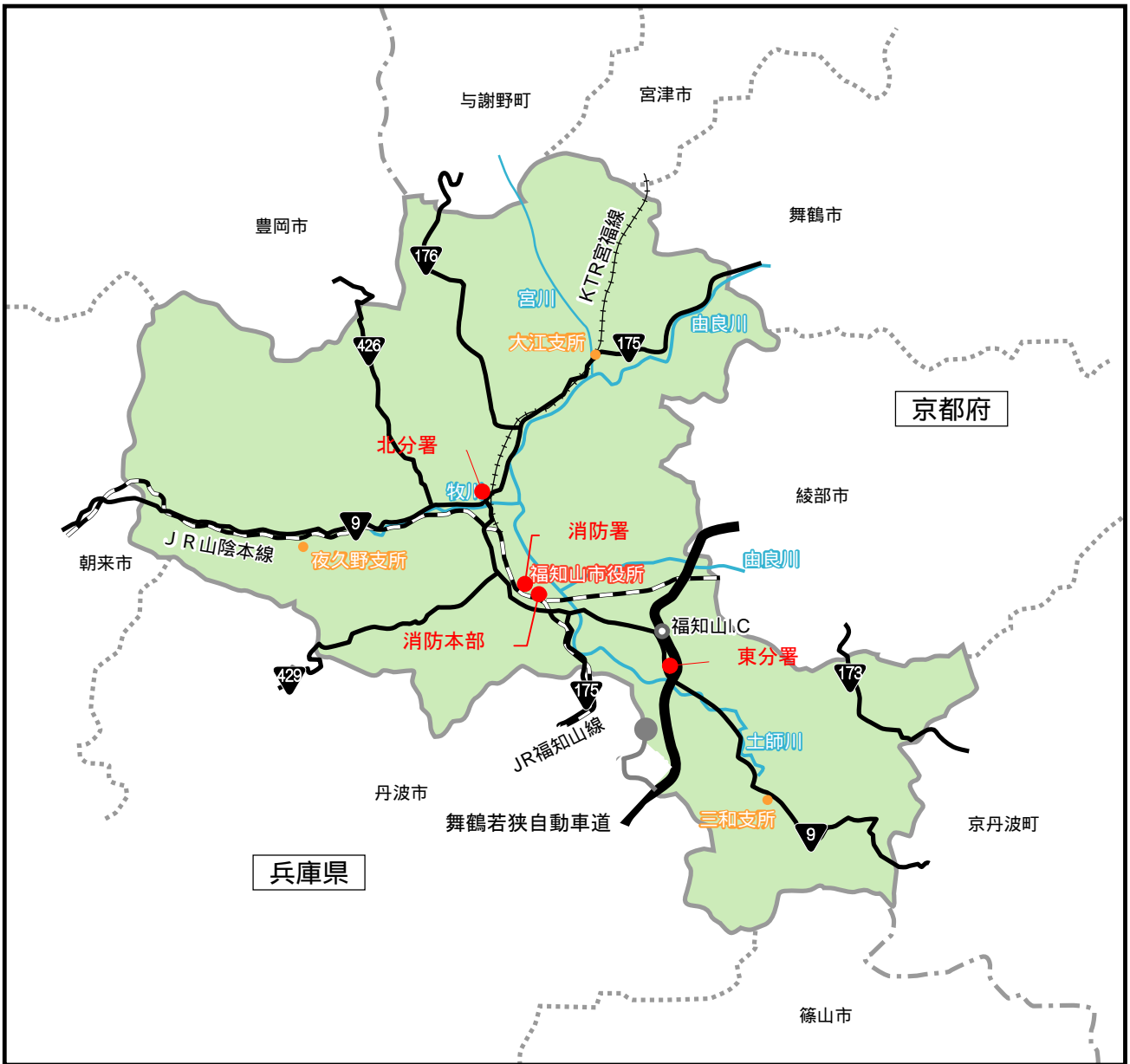


## 消防庁舎の概要

	所在地	構造等	敷地面積	建築年月	その他
福知山市消防本部	福知山市字内記 13番地の1 市役所庁舎2階	鉄筋コンクリート造	17,913 m <sup>2</sup>	S51.6	
福知山消防署	福知山市字天田 小字中長戸76 (北本町一区)	鉄筋コンクリート造 2階建 延 1,255 m <sup>2</sup>	2,150 m <sup>2</sup>	S37.11 S54.3増築	
福知山市 防災センター 指令センター		鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 2階建 (耐火構造) 延 349 m <sup>2</sup>		H9.7	
福知山消防署 東分署	福知山市長田野町 三丁目12-2	鉄筋コンクリート造 2階建 延 772.82 m <sup>2</sup>	25,235 m <sup>2</sup>	S56.9	訓練場 訓練塔
福知山消防署 北分署	福知山市字牧 471-1	鉄筋コンクリート造 2階建 延 419.81 m <sup>2</sup>	1,710 m <sup>2</sup>	S56.9	

福知山市位置・管内案内図

面積	552.57 km <sup>2</sup>
周囲	174.20 km
海拔	839.17 m (最高) 7.11 m (最低)
総人口	82,425人
世帯数	33,915世帯
(人口・世帯数は平成20年4月1日現在)	



消防の沿革

(平成20年4月1日)

○昭和23年	1月6日	中ノ町に福知山市消防団常置消防部を設ける ポンプ車2台 定員15名
"	7月4日	職員4名増員 実員19名
○昭和24年	5月31日	職員6名増員 実員25名
"	8月18日	福知山市消防本部を設置し、庶務・予防・消防の3係を置く
"	12月15日	2,000ℓ水槽付ポンプ車を購入配置
○昭和25年	8月19日	小牧大火 集落の3分の1、16戸全焼 (2,300㎡)、損害額12,437千円
"	11月23日	指令車(トヨタクラウン)を購入配置
"	12月20日	1,500ℓ水槽付ポンプ車を購入配置 タンク車2台、普通ポンプ車1台
○昭和26年	4月11日	職員7名増員 実員32名
○昭和28年	9月25日	台風13号襲来 由良川水位8.1mに達し市街地全域が水没し、死者4名、重軽傷者788名、家屋の流失55戸、家屋の全壊428戸、半壊1,181戸、床上浸水3,641戸(内2階浸水3,202戸)、床下浸水195戸、その他被害総額6,649,424千円
○昭和29年	4月1日	職員2名増員 実員34名
○昭和30年	1月1日	消防本部に消防署を併設 1署3係
"	4月1日	上六人部、中六人部、下六人部、上川、金谷、三岳、金山、雲原の8ヶ村合併により、面積254.93k㎡、人口約61,000人
○昭和31年	3月31日	ジープ型ポンプ車を購入配置 国消FM-1型無線を配置
"	9月30日	佐賀村分村合併により、面積264.24k㎡、人口64,000人
○昭和34年	9月26日	伊勢湾台風 由良川水位7.1mに達し、重軽傷者26名、家屋の流失4戸、全壊6戸、半壊103戸、床上浸水3,473戸、床下浸水1,644戸、その他被害総額1,164,566千円
○昭和35年	3月5日	普通ポンプ車を購入配置(更新)
○昭和36年	9月16日	第二室戸台風 瞬間最大風速43mを記録し、死者3名、重軽傷者6名を出し、家屋の全壊9戸、半壊67戸、その他被害総額162,482千円
○昭和37年	5月8日	内記五丁目大火 全焼12戸、半焼3戸、部分焼6戸、農機工場より出火、焼失面積2,393㎡、損害額23,911千円
"	8月1日	技術吏員1名増員し、危険物規制事務開始 実員35名
"	11月20日	福知山市字天田小字中長戸76番地に、鉄筋コンクリート2階建庁舎を建設し業務を開始 現在に至る
"	12月20日	日本損害保険協会よりポンプ車の寄贈を受ける
○昭和40年	3月31日	小牧地区大火 全焼7戸、部分焼2戸、焼失面積782㎡、損害額8,732千円
○昭和42年	12月4日	消防法の改正に基づき、救急業務を開始(救急車を購入配置) 職員4名増員 実員39名

○昭和45年	3月4日	大槻内科医院より自動二輪車4台寄贈を受ける
"	4月1日	職員1名増員 実員40名
"	11月13日	大型ポンプ車を購入配置(更新)
○昭和46年	4月1日	職員3名採用 実員40名
○昭和47年	3月15日	日本自動車工業会より大型救急車の寄贈を受ける
○昭和48年	10月1日	職員3名増員 実員43名
"	12月13日	新町大火 全焼13戸、半焼2戸、部分焼8戸、り災世帯10世帯、り災人員43名、焼失面積1,929㎡、損害額60,708千円 消防ポンプ自動車(BD-I型)を購入配置(更新)
○昭和49年	2月13日	内記六丁目大火 全焼6戸、半焼1戸、部分焼1戸、り災世帯8世帯、り災人員35名、死者1名、負傷者2名、焼失面積730㎡、損害額28,130千円
"	4月1日	消防職員7名増員 実員50名
"	5月10日	日本損害保険協会よりタンク車の寄贈を受ける
"	5月23日	指令車(トヨタクラウン)を購入配置(更新)
"	7月1日	本部機構改革、2課5係
○昭和50年	2月27日	化学車(Ⅲ型)を購入配置
"	4月1日	消防ポンプ自動車(BD-I型)を購入配置(更新) 消防職員4名増員 実員54名
○昭和51年	2月6日	農協共済より救急車(2B)の寄贈を受ける
"	5月13日	内記四丁目大火 全焼7戸、部分焼3戸、り災世帯7世帯、り災人員20名、焼失面積1,267㎡、損害額19,793千円
"	6月14日	消防本部、団本部を新市庁舎へ移す
"	7月1日	消防職員3名採用(内1名増員) 実員55名
○昭和52年	4月1日	消防職員1名増員 実員56名
"	7月19日	指揮車(ニッサンセドリックバン)を購入配置
○昭和53年	4月1日	消防職員3名採用 実員56名
"	10月1日	消防職員2名増員 実員58名
○昭和54年	3月26日	原動機付自転車2台を購入配置
"	3月31日	福知山消防署庁舎改修
"	8月1日	林野火災用小型ポンプを購入配置
○昭和55年	1月23日	普通消防ポンプ自動車(BD-I型)を購入配置
"	3月11日	日本損害保険協会より救急自動車(3B)の寄贈を受ける
"	8月1日	消防職員3名採用 実員58名
○昭和56年	1月23日	一市三町広域消防調印式挙行
"	3月9日	普通消防ポンプ自動車(CD-I型)を購入配置(更新)
"	3月31日	救急車を購入配置する
"	4月1日	一市三町広域消防体制発足(事務委託方式) 消防職員21名増員 実員79名
"	9月11日	福知山市長田野町三丁目12番地の2 福知山消防署東分署庁舎完成 (RC造2階建延床面積772.82㎡) 福知山市字牧471番地の1 福知山消防署北分署庁舎完成 (RC造2階建延床面積419.81㎡)

○昭和56年	9月21日	日本消防協会より救急車・広報車の寄贈を受け、北分署に配置
"	9月24日	普通消防ポンプ自動車（BD-I型）を2台購入、2分署に配置
"	9月30日	広報車を購入し、東分署に配置
"	10月1日	2分署開設し、業務開始（分署長以下13名×2分署）
"	11月20日	消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入配置（更新）
"	12月1日	福知山ライオンズクラブから事務連絡車（スズキアルト）の寄贈を受ける
○昭和57年	3月24日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、東分署に配置
"	4月1日	消防職員4名増員 実員83名
"	12月11日	はしご付消防ポンプ自動車（24m級）を購入し消防署に配置
○昭和58年	3月31日	小型動力ポンプ（C-1級）を購入し、2分署に配置
"	4月1日	消防職員2名増員 実員85名
"	9月26日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（BD-I型）の寄贈を受ける
"	9月29日	消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入配置（更新）
○昭和59年	3月30日	救助工作車を購入し、消防署に配置
"	3月31日	指令車（ニッサンセドリック）、救急車（2B型）を購入配置（更新）
"	8月31日	隣接5消防組合と消防相互応援協定を締結
○昭和60年	4月1日	本部機構改正、3係を置く 消防職員4名採用 実員85名
○昭和61年	3月4日	水槽付消防ポンプ自動車（水-II型A級）を購入し、消防署に配置（更新）
"	3月5日	消防庁長官表彰旗受賞
○昭和62年	1月17日	日本自動車工業会より救急車（2B型・4WD）の寄贈を受ける
"	3月18日	舞鶴自動車道、消防救急業務体制発足
"	4月1日	消防職員5名増員 実員90名
○昭和63年	4月1日	消防職員3名採用（内1名増員） 実員91名
"	5月24日	2時36分 西中ノ町建物火災、3時50分 駅前町建物火災（道草横町）、 両火災で全焼2戸、半焼5戸、部分焼3戸、り災世帯8世帯、り災人員23名、 焼失面積709㎡、損害額47,302千円
"	10月5日	消防指揮車を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 元年	12月4日	消防ポンプ自動車（CD-I型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新） 日本防火協会より広報車（ニッサンキャラバン）の寄贈を受ける
○平成 2年	3月31日	日本自動車工業会より救急車（2B型・4WD）の寄贈を受ける
"	4月1日	消防職員1名採用 実員91名
"	5月1日	消防職員1名増員 実員92名
○平成 3年	4月1日	消防職員4名採用 実員92名
"	6月25日	JR福知山線「岡踏切」列車事故 重症者3名、中等症者16名、軽症者290名
"	8月20日	北京都信用金庫より救急車（2B型・4WD）の寄贈を受ける
○平成 4年	2月5日	水槽付消防ポンプ自動車（水-II型A級）を購入し、東分署に配置
"	4月1日	消防職員3名採用（内1名増員） 実員93名
"	10月16日	福知山危険物安全協会より連絡車（三菱ミニカ）の寄贈を受ける
"	11月25日	消防ポンプ自動車（CD-I型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 5年	1月30日	広報車（ニッサンセレナ）を購入し、北分署に配置（更新）

	"	4月 1日	消防職員3名採用（内1名増員） 実員 94名
	"	4月26日	国際ソロプチミスト福知山より救急車（2B型）の寄贈を受ける
	"	7月 1日	烏ヶ岳山頂消防無線基地局運用開始
	"	7月 1日	職員定員104名とする
	"	9月 1日	消防職員4名増員 実員 98名
	"	9月17日	日本損害保険協会より化学車（Ⅱ型）の寄贈を受ける
	"	9月30日	広報車（トヨタマークⅡ）を購入し、東分署に配置（更新）
	"	11月11日	消防ポンプ自動車（CD-I型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成	6年	4月 1日	消防職員3名採用（内1名増員） 実員 99名
	"	4月27日	救急救命士1名資格取得
○平成	7年	1月18日	兵庫県南部地震による応援出動（～26日）
	"	1月23日	指令車（トヨタクラウン）を購入し、消防本部に配置（更新）
	"	2月14日	消防団員に対する応急手当普及員講習開講
	"	4月 1日	消防職員3名採用（内2名増員） 実員 101名
	"	5月12日	救急救命士1名資格取得 計2名
○平成	8年	1月22日	消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し、東分署に配置（更新）
	"	3月11日	高規格救急車を購入し、消防署に配置（高度救急業務運用開始）
	"	4月 1日	消防職員1名採用（女性消防士） 実員 101名
	"	5月17日	本部・署機構改正 本部2係・署2課1室6係となる 救急救命士1名資格取得 計3名
	"	11月14日	査察車（トヨタカリブ）寄贈を受ける
	"	12月 3日	消防署通信指令室併用福知山市防災センター増築工事着手 救急救命士1名資格取得 計4名
○平成	9年	4月 1日	消防職員3名採用（内1名増員） 実員 102名
	"	4月27日	救急救命士2名資格取得 計6名
	"	10月12日	自治体消防制度50周年、市制施行60周年記念行事（消防フェア福知山）開催
	"	11月 6日	救急救命士1名資格取得 計7名
	"	12月28日	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、消防署に配置
○平成	10年	3月 3日	福知山市防災センター竣工
	"	4月 1日	消防緊急通信指令施設（Ⅰ型）運用開始 消防無線第2市波運用開始 携帯電話からの119番通報受信体制整備（代表受信消防本部）
	"	4月23日	救急救命士1名資格取得 計8名
	"	8月27日	北分署改修工事着手
	"	11月 5日	救急救命士1名資格取得 計9名
○平成	11年	4月 1日	消防職員3名採用（内女性消防士1名） 実員 102名
	"	4月22日	本部・署機構改正 本部2係・署2課1室2分署12係となる 救急救命士1名資格取得 計10名
	"	7月 1日	高規格救急車（ニッサンパラメディック）を購入し、北分署に配置
	"	11月 2日	救急救命士1名資格取得 計11名
○平成	12年	3月 7日	消防広報誌「火の用心」創刊
	"	4月 1日	消防職員2名採用 実員 102名
	"	5月16日	救急救命士1名資格取得 計12名
○平成	13年	1月22日	福知山市消防本部・福知山市消防団「ホームページ」を開設
	"	3月 1日	福知山市消防出初式「写真コンテスト」を始める

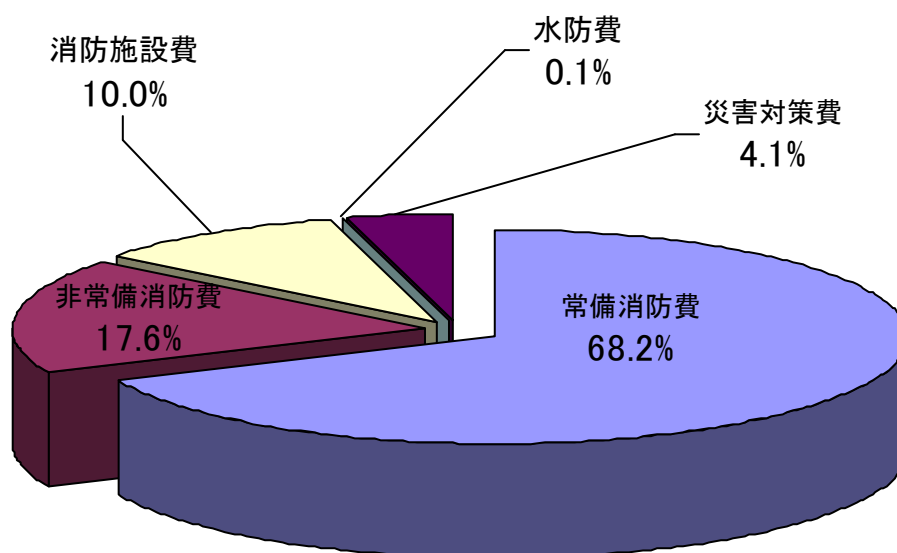
"	3月22日	消防資材搬送車（トヨタタウンエース）寄贈を受ける
"	3月23日	救助工作車を購入し、消防署に配置（更新）
"	11月20日	救急救命士1名資格取得 計13名
○平成14年	2月28日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-A型）を購入し、消防署に配置（更新）
"	12月16日	はしご付消防ポンプ自動車（30m級水路付）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成15年	4月1日	消防職員2名（うち1名救急救命士資格取得者）採用 実員102名 救急救命士1名資格取得 計14名
"	12月1日	消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し、消防署に配置（更新）
"	2月23日	第1回自主防火・防災リーダー養成講座実施
○平成16年	4月1日	消防職員1名（救急救命士資格取得者）採用 実員102名 予防課に住民安全係を設置。本部2係、署2課1室2分署13係となる
"	4月2日	指揮隊車（ニッサンキャラバン）寄贈を受ける
"	8月1日	救急救命士1名資格取得 計16名
"	9月11日	「救急フェア」開催
"	10月20日 ～21日	「台風23号災害」半壊・一部損壊63戸、浸水家屋844戸 被害額4,421,498千円。由良川水位7.55mに達する
"	11月13日	IP電話（ケイオプティコム）からの119番通報受信開始
○平成17年	2月14日	IP電話（日本テレコム）からの119番通報受信開始
"	3月29日	高規格救急自動車（ニッサンパラメディック）を購入し東分署に配置（更新）
"	4月1日	消防職員2名（うち1名救急救命士資格取得女性消防士）採用 実員102名 救急救命士1名資格取得 計17名
"	6月11日	消防団緊急伝達システム 運用開始
"	8月29日	IP電話（平成電電）からの119番通報受信開始
"	10月1日	IP電話（KDDI）からの119番通報受信開始
○平成18年	1月1日	福知山市と三和町、夜久野町及び大江町が合併。広域受託消防体制を解消
"	1月10日	IP電話（NTT西日本）からの119番通報受信開始
"	2月2日	携帯電話119番通報 直接受信開始
"	4月1日	消防職員3名採用 実員104名
"	10月29日	第1回自主防火・防災リーダー中級講座実施
○平成19年	2月1日	消防ポンプ自動車（水槽付CD-I型）を購入し、北分署に配置
"	4月1日	消防職員2名採用 実員103名
"	4月1日	予防技術資格者認定制度開始
"	10月1日	携帯電話・IP電話発信位置表示通知システム導入
"	10月14日	市制施行70周年、福知山市消防団発足60周年及び救急業務運用開始40周年 記念事業（消防防災フェア）開催
○平成20年	4月1日	消防職員5名（うち1名救急救命士資格取得者）採用 実員104名

## 消防予算（当初予算）

### 1 一般会計と消防予算

予 算 額（千円）			平成20年度	平成19年度	平成18年度
年 度					
一般会計予算			39,480,000	36,050,000	38,680,000
消防費予算			1,283,023	1,231,064	1,323,457
比			3.3%	3.4%	3.4%
内 訳	常備消防費		875,393	890,298	926,045
	非常備消防費		225,126	192,818	226,487
	その他	消防施設費	128,715	86,573	96,235
		水防費	1,826	1,855	1,933
		災害対策費	51,963	59,520	72,757

### 2 平成20年度 消防予算の内訳





消防職員の定員および現在員数

(平成20年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副長	消防士	その他の消防職員	計
定員	条例定数								104
実員	1	2	19	29	27	6	18	2	104

消防職員の配置表

(平成20年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副長	消防士	その他の消防職員	計	
合計	1	2	19	29	27	6	18	2	104	
消防本部	消防長	1							1	
	次長		1						1	
	参事			1					1	
	総務係				1			2	3	
	企画係			1		2			3	
消防署	署長		1						1	
	警防課	課長			1					1
		参事			1					1
		当直司令			2					2
		警備班長				2				2
		庶務係				2	1			3
		警防係				3	2	1		6
		救急係			1		1		2	4
	予防課	課長			1					1
		参事			1					1
		課長補佐			1					1
		予防係				2		1		3
		住民安全係			1	1	1		2	5
		設備係				2	5	1	1	9
		危険物係				1	2		1	4
通信指令室	室長			1					1	
	指令第1係			1	1	2		1	5	
	指令第2係				2		1	1	4	
東分署	分署長			1					1	
	分署長補佐			1					1	
	警備班長				2				2	
	警防係				2	4	2		8	
	予防係			1	3	3		2	9	
北分署	分署長			1					1	
	警備班長				2				2	
	警防係			1	3	2			6	
	予防係			1	1	1	1	2	6	
初任教育入校							5	5		

消防職員階級別年齢状況

(平成20年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	計
20才未満							1		1
20才以上 24才以下							9		9
25才以上 29才以下					1		6		7
30才以上 34才以下					7	3	2		12
35才以上 39才以下					11	1		1	13
40才以上 44才以下				2	7	2			11
45才以上 49才以下			1	18	1				20
50才以上 54才以下		1	9	7				1	18
55才以上	1	1	9	2					13
計	1	2	19	29	27	6	18	2	104
平均年齢	56.0	55.0	53.6	48.5	36.6	37.2	24.5	44.0	42.2

消防職員階級別勤続年数

(平成20年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	計
5年未満		1					13	2	16
5年以上 10年未満					3		4		7
10年以上 15年未満					7	4	1		12
15年以上 20年未満					10				10
20年以上 25年未満				7	6	2			15
25年以上 30年未満			10	18	1				29
30年以上	1	1	9	4					15
計	1	2	19	29	27	6	18	2	104
平均勤続年数	34.0	17.5	29.8	26.4	16.0	16.2	3.2	0.5	19.1

## 事務分掌

### 【消防本部事務分担当表】

- 1 公印の管守及び文書の收受発送に関する事。
- 2 職員の任免、服務、表彰、分限、懲戒その他人事に関する事。
- 3 職員の給与に関する事。
- 4 職員の福利厚生及び安全衛生に関する事。
- 5 消防職員委員会に関する事。
- 6 職員の公務災害補償に関する事。
- 7 職員の研修の総括に関する事。
- 8 消防予算の調整及び執行管理に関する事。
- 9 消防に係る財産管理の総括に関する事。
- 10 消防団に関する事。
- 11 基本政策の総合企画及び調整に関する事。
- 12 条例、規則、規程その他法制に関する事。
- 13 広域消防行政に関する事。
- 14 消防行政の広報に関する事。
- 15 消防施設整備事業の計画及び実施に関する事。
- 16 水防協議会に関する事。
- 17 他の主管に属しない事。

### 【消防署事務分担当表】

#### 警防課

- 1 公印の管守及び文書の收受発送に関する事。
- 2 消防署員の福利厚生及び安全衛生に関する事。
- 3 消防署員の公務災害補償に関する事。
- 4 消防署の庁舎管理に関する事。
- 5 福知山市防災センターの管理に関する事。
- 6 消防署員の教養訓練に関する事。
- 7 消防関係団体に関する事。
- 8 警防計画の策定及び対策に関する事。
- 9 消防機械器具の保守管理に関する事。
- 10 消防地理水利に関する事。
- 11 応援協定及び緊急消防援助隊の運用に関する事。
- 12 火災原因の調査に関する事。
- 13 火災証明書の交付に関する事。
- 14 事業所の警防指導に関する事。
- 15 消防団との連絡調整に関する事。
- 16 救助業務に関する事。
- 17 救急業務に関する事。
- 18 搬送証明書の交付に関する事。
- 19 応急手当の普及及び啓発に関する事。
- 20 他の課及び室の主管に属しない事。

#### 予防課

- 1 文書の收受発送に関する事。
- 2 火災予防対策に関する事。
- 3 防火管理者に関する事。

- 4 防火基準適合表示に関する事。
- 5 防火対象物の査察及び防火指導に関する事。
- 6 予防広報に関する事。
- 7 自主防火組織等の育成に関する事。
- 8 高齢者等災害弱者に対する防火指導に関する事。
- 9 消防用設備等の設置及び維持管理指導に関する事。
- 10 建築物の確同意務に関する事。
- 11 危険物及び指定可燃物の規制に関する事。
- 12 危険物施設の査察に関する事。
- 13 危険物施設管理者及び危険物取扱者の指導に関する事。
- 14 ガス、火薬等特殊物質の防火指導に関する事。

#### 通信指令室

- 1 文書の収受発送に関する事。
- 2 災害通報の受付及び出動指令に関する事。
- 3 消防通信の運用に関する事。
- 4 消防隊等の出動計画に関する事。
- 5 非常召集の発令計画に関する事。
- 6 気象情報及び消防情報に関する事。
- 7 消防統計に関する事。
- 8 通信機器の保守管理に関する事。

#### 分 署

- 1 文書の収受発送に関する事。
- 2 分署員の福利厚生及び安全衛生に関する事。
- 3 分署員の公務災害補償に関する事。
- 4 分署員の教養訓練に関する事。
- 5 庁舎管理に関する事。
- 6 消防機械器具の保守管理に関する事。
- 7 消防地理水利に関する事。
- 8 火災原因の調査に関する事。
- 9 事業所の警防指導に関する事。
- 10 警備計画に関する事。
- 11 救急業務及び救助業務に関する事。
- 12 消防団との連絡調整に関する事。
- 13 庶務に関する事。
- 14 火災予防対策に関する事。
- 15 防火対象物の査察及び防火指導に関する事。
- 16 防火管理者に関する事。
- 17 予防広報に関する事。
- 18 自主防火組織等の育成に関する事。
- 19 高齢者等災害弱者に対する防火指導に関する事。
- 20 消防用設備等の設置及び維持管理指導に関する事。
- 21 建築物の確同意務に関する事。
- 22 ガス、火薬等特殊物質の防火指導に関する事。

消防相互応援協定の締結状況

(平成20年4月1日)

協定名	協定市町名	協定年月日	協定事項
福知山市・舞鶴市・綾部市・宮津市 消防相互応援協定	舞鶴市 綾部市 宮津市	昭和40年12月7日	市域間における 消防・救急業務
消防相互応援 に関する協定	京都中部広域 消防組合	平成20年4月1日	常備消防 における 消防・救急業務
〃	豊岡市	平成18年1月1日	市域間における 消防・救急業務
〃	朝来市	平成18年11月22日	〃
〃	丹波市	平成19年1月1日	〃
〃	篠山市	平成11年4月26日	〃
京都府広域 消防相互応援協定	京都府26市町村 ・4消防組合	平成19年3月12日	大規模災害 及び 特殊災害等
舞鶴若狭自動車道 における 消防相互応援協定	若狭消防組合 舞鶴市 綾部市 丹波市 篠山市 三田市 三木市 神戸市	平成18年3月9日	高速道路 における 火災・救急及び 救助業務

# 警 防



平成19年 消防防災フェア

消防本部・署別自動車現勢一覧

(平成20年4月1日)

所属	名称	種別	車名・形式	登録年月日	定員	備考
本部	指令車	指令車	トヨタ E-GS130改	H7. 1. 23	6	
消防署	ポンプ1号車	ポンプ車	三菱 KK-FG72EC	H15. 11. 26	5	CD-I型
	ポンプ2号車	ポンプ車	いすゞ U-NKS58GR改	H5. 11. 11	6	CD-I型
	ポンプ5号車	ポンプ車	いすゞ K-TLD44改	S56. 3. 7	6	CD-I型
	救助工作車	救助工作車	日野 KK-GX1JGDA改	H13. 2. 21	6	
	タンク1号車	水槽付ポンプ車	日野 KK-FD1JEDA改	H14. 2. 20	7	水I-A型
	梯子車	梯子付ポンプ車	日野 KL-PR4FPHF	H14. 12. 12	6	30m級
	救急1号車	救急車	トヨタ GB-VCH38S	H9. 12. 18	7	高規格
	救急2号車	救急車	ニッサン E-FEGE24	H8. 3. 1	6	高規格
	指揮隊車	指揮隊車	ニッサン LC-VPE25	H16. 3. 23	9	
	広報車	広報車	トヨタ Z-RZH112V改	H6. 7	8	
	連絡車	連絡車	スズキ CBA-MH21S	H16. 7. 30	4	
	査察車	査察車	トヨタ E-AE114G	H8. 4. 30	5	
	支援車	支援車	ニッサン T-VAJC23改	H5. 1. 25	5	
	救援車	救援車	トヨタ CBA-TRH214W	H16. 12	10	
署資材搬送車	資材搬送車	ニッサン L-BF22改	H元. 10. 5	6		
東分署	ポンプ3号車	ポンプ車	三菱 KC-FG538D	H8. 1. 19	6	CD-I型
	タンク2号車	水槽付ポンプ車	いすゞ U-FRR32FBV改	H4. 1. 27	7	水II-A型
	化学車	化学ポンプ車	ニッサン U-CM87EE改	H5. 9. 17	7	II型
	救急3号車	救急車	ニッサン TC-FPWGE50改	H17. 3. 25	7	高規格
	救急5号車	救急車	ニッサン E-AEGE24改	H5. 4. 16	8	II B型
	広報車	広報車	トヨタ T-YX78V改	H5. 9. 30	5	
	東資材搬送車	資材搬送車	トヨタ KF-CM85	H13. 3. 19	3	
北分署	ポンプ4号車	ポンプ車	日野 BDG-XZU378M	H19. 1. 25	5	CD-I型
	救急4号車	救急車	ニッサン E-ALWE50改	H11. 6. 25	7	高規格
	指揮広報車	広報車	ニッサン UA-NT30	H17. 11. 18	5	

消防水利の状況

(平成20年4月1日)

	防火水槽				プール	消火栓		
	平成19年度		40立米以上 以 現 有	40立米未 満 有		平成19年度		現有
	新設	廃止				新設	廃止	
中央	3	3	103	10	4	3	3	437
大正	2	1	45	4	2			158
雀部			47	5	1	4		151
庵我	1	1	32	11	1			78
修斉	4	1	71	19	1			158
西中	1		42	6	1	6		154
下川			35	4	1			3
上豊			24	16	1			
上六			19	10	1			11
中六			18	5	1			34
下六			52	6	1	1		140
上川			21	5	1			
金谷			21	7	1			
三岳			4	8	1			
金山			13	5	1			
雲原			1	1	1			
佐賀			8	5	2			
長田野	1		111	20	1	1		104
菟原			57	5	2			
細見		1	76	3	1			
川合			52	1	1			
上夜久野	1	1	57	5	1			
中夜久野	1	1	17	4				
下夜久野	1		29	5	1			
河守			28		1			
河守上	1		25	9	2			
河西			14	5	1			
河東			35	2	1			
有路上		1	44	5	1			
有路下	3	2	32	2	1			
合計	19	12	1,133	193	36	15	3	1,428



## 火災概要

		平成19年	平成18年	前年比（△減）	
火災件数 （爆発）	建 物	28 (0)	25 (0)	3 (0)	
	林 野	2 (0)	3 (0)	△ 1 (0)	
	車 両	9 (0)	4 (0)	5 (0)	
	その他	12 (0)	30 (0)	△ 18 (0)	
	計	51 (0)	62 (0)	△ 11 (0)	
焼損面積	建物（㎡）	床面積	5,447	1,646	3,801
		表面積	102	100	2
	山林原野（a）	117	195	△ 78	
焼損棟数 （棟）	全 焼	8	7	1	
	半 焼	2	1	1	
	部分焼	9	12	△ 3	
	ぼ や	15	16	△ 1	
り災世帯 （世帯）	全 損	5	5	0	
	半 損	3	0	3	
	小 損	9	17	△ 8	
り 災 人 員（人）		32	55	△ 23	
死傷者 （人）	死 者	0	3	△ 3	
	傷 者	6	5	1	
損害見積額 （千円）	建 物	164,797	36,894	127,903	
	収容物	229,288	12,009	217,279	
	林 野	0	0	0	
	車 両	2,928	562	2,366	
	その他	791	45	746	
	爆 発	0	0	0	
	計	397,804	49,510	348,294	
火災発生間隔（日）		7.2	5.9	1.3	
1件平均損害額（千円）		7,799	799	7,000	
1日平均損害額（千円）		1,089	136	953	
1件平均建物焼損面積（㎡）		195	66	129	

累年火災比較（10年間）

		10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	
火災件数 (件)	計	33	50	54	44	56	47	66	53	62	51	
	建物	15	35	19	22	25	27	31	26	25	28	
	林野	3	0	8	2	4	3	6	2	3	2	
	車両	5	4	5	4	5	4	4	6	4	9	
	その他	10	11	22	16	22	13	25	19	30	12	
焼損面積 (m <sup>2</sup> )	建物	床面積	732	2,959	1,489	1,234	2,335	2,364	1,485	764	1,646	5,447
		表面積	6	5	65	1	18	15	72	70	100	102
	山林原野(a)		68	11	153	106	463	48	72	83	195	117
焼損棟数 (棟)	全焼	8	17	11	8	11	11	7	8	7	8	
	半焼	2	3	1	1	4	5	3	1	1	2	
	部分焼	4	14	6	5	4	9	5	4	12	9	
	ぼや	9	17	7	13	14	10	22	19	16	15	
り災世帯 (世帯)	全損	1	10	7	4	11	16	4	4	5	5	
	半損	0	2	0	0	2	0	2	2	0	3	
	小損	6	15	12	13	7	9	11	15	17	9	
り災人員(人員)		24	82	58	39	52	60	45	53	55	32	
死傷者 (人)	死者	1	1	3	0	6	3	2	0	3	0	
	傷者	5	9	5	7	8	6	4	14	5	6	
損害見積額 (千円)	計	11,542	187,354	75,949	86,475	148,853	87,453	102,557	83,761	49,510	397,804	
	建物(収容物含む)	10,569	186,844	74,092	85,406	144,783	81,584	101,300	82,952	48,903	394,085	
	林野	50	0	11	0	2,042	120	0	0	0	0	
	車両	730	395	1,680	372	1,143	5,355	683	701	562	2,928	
	その他	193	115	166	541	885	394	574	108	45	791	
	爆発	0	0	0	156	0	0	0	0	0	0	

## 署・分署別火災発生状況

(平成19年中)

		消防署	東分署	北分署	合 計
火災件数 (件)	建 物 (爆発)	13	8	7	28
	林 野 (爆発)	1	1	0	2
	車 両 (爆発)	2	3	4	9
	その他 (爆発)	6	5	1	12
	計	22	17	12	51
焼損面積	建 物 (㎡)	3,332	160	2,057	5,549
	山林原野 (a)	6	111	0	117
焼損棟数 (棟)	全 焼	3	1	4	8
	半 焼	1	0	1	2
	部 分 焼	3	3	3	9
	ぼ や	9	4	2	15
	計	16	8	10	34
り災世帯 (世帯)	全 損	3	0	2	5
	半 損	1	0	2	3
	小 損	7	1	1	9
	計	11	1	5	17
り災人員 (人)		19	2	11	32
死 者 (人)		0	0	0	0
傷 者 (人)		3	1	2	6
損害見積額 (千円)	建 物	107,234	5,655	51,908	164,797
	収 容 物	158,685	2,832	67,771	229,288
	林 野	0	0	0	0
	車 両	2,687	45	196	2,928
	そ の 他	531	0	260	791
	爆 発	0	0	0	0
	計	269,137	8,532	120,135	397,804

地区別火災発生状況 1

(平成19年中)

	火災件数 (件)					焼損面積			焼損棟数 (棟)				
	建物	林野	車両	その他	計	建物 (㎡)		山林原野 (a)	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計
						床面積	表面積						
中央	8	0	2	2	12	498	34	0	2	1	2	6	11
大正	2	0	0	2	4	18	0	0	0	0	1	1	2
雀部	3	0	1	1	5	0	3	23	0	0	1	1	2
庵我	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
修斉	3	0	1	3	7	4,406	28	6	2	0	2	1	5
西中	1	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	2	2
下川	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
上豊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上六	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中六	0	0	0	2	2	0	0	41	0	0	0	0	0
下六	2	0	1	0	3	3	18	0	0	0	2	0	2
上川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三岳	1	0	0	0	1	222	0	0	1	0	0	1	2
金山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雲原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
菟原	0	0	1	1	2	0	0	4	0	0	0	0	0
細見	1	1	0	0	2	0	0	42	0	0	0	1	1
川合	1	0	0	0	1	136	0	0	1	0	0	0	1
上夜久野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中夜久野	1	0	0	0	1	9	0	0	0	0	1	0	1
下夜久野	1	0	0	0	1	66	19	0	0	1	0	0	1
有路上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有路下	1	0	2	0	3	61	0	0	1	0	0	0	1
河西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河東	1	0	0	0	1	28	0	0	1	0	0	0	1
河守上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河守	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
計	28	2	9	12	51	5,447	102	117	8	2	9	15	34

地区別火災発生状況 2

(平成19年中)

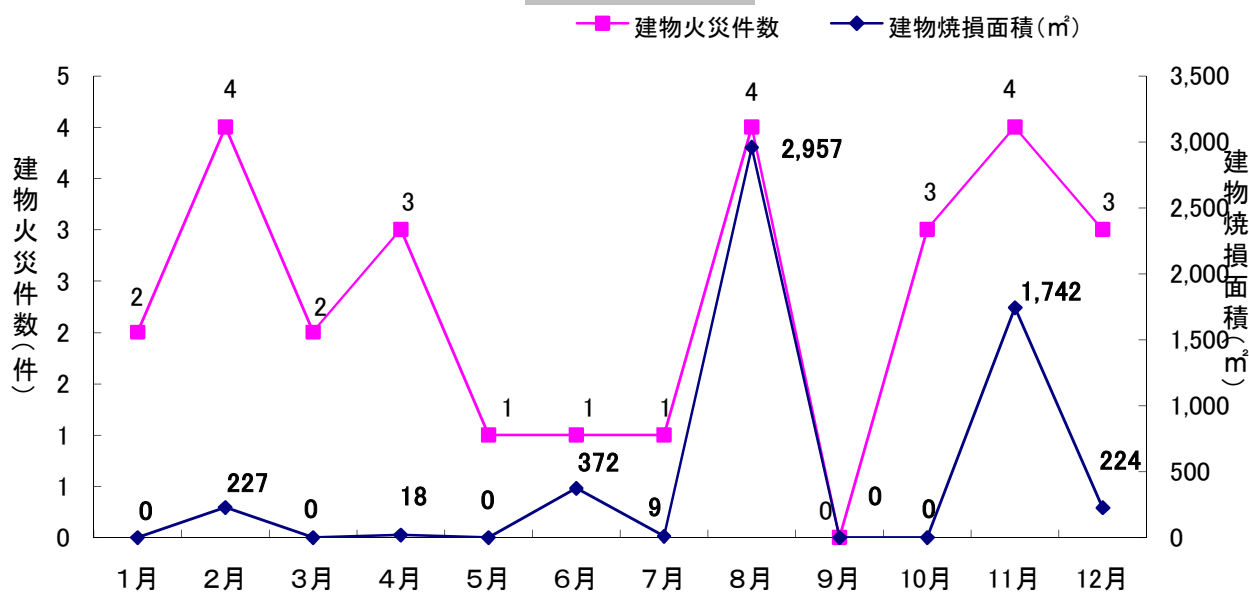
	り災世帯 (世帯)				り災人員 (人)	死傷者 (人)		損害見積額 (千円)					
	全損	半損	小損	計		死者	傷者	建物	収容物	林野	車両	その他	計
中央	3	0	5	8	10	0	2	25,453	16,375	0	2,687	22	44,537
大正	0	1	1	2	7	0	0	7,426	145	0	0	0	7,571
雀部	0	0	1	1	2	0	1	724	2,815	0	0	0	3,539
庵我	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修斉	0	0	1	1	2	0	1	119,242	209,330	0	3	672	329,247
西中	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5
下川	0	0	1	1	1	0	0	4	0	0	0	0	4
上豊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上六	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中六	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下六	0	0	0	0	0	0	0	180	3	0	45	0	228
上川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三岳	1	0	0	1	1	0	1	447	85	0	0	53	585
金山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雲原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菟原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細見	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
川合	0	0	0	0	0	0	0	4,751	6	0	0	0	4,757
上夜久野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中夜久野	0	1	0	1	6	0	0	468	2	0	0	0	470
下夜久野	0	1	0	1	1	0	0	5,460	241	0	0	0	5,701
有路上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有路下	1	0	0	1	2	0	1	639	254	0	68	14	975
河西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河東	0	0	0	0	0	0	0	3	24	0	0	0	27
河守上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河守	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	125	30	155
計	5	3	9	17	32	0	6	164,797	229,288	0	2,928	791	397,804

月別火災発生状況 1

(平成19年中)

	火災発生件数 (件)					焼損面積			焼損棟数 (棟)				
	建 物	林 野	車 両	そ の 他	計	建物 (㎡)		山林 原野 (a)	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計
						床 面 積	表 面 積						
1月	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	2
2月	4	0	0	3	7	202	25	33	1	1	1	1	4
3月	2	0	0	2	4	0	0	5	0	0	0	2	2
4月	3	1	0	5	9	18	0	79	0	0	1	2	3
5月	1	1	2	0	4	0	0	0	0	0	0	1	1
6月	1	0	0	1	2	372	0	0	2	0	2	0	4
7月	1	0	0	0	1	9	0	0	0	0	1	0	1
8月	4	0	1	0	5	2,911	46	0	1	1	1	1	4
9月	0	0	3	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	3	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	3	3
11月	4	0	0	0	4	1,713	29	0	3	0	2	1	6
12月	3	0	2	0	5	222	2	0	1	0	1	2	4
合計	28	2	9	12	51	5,447	102	117	8	2	9	15	34

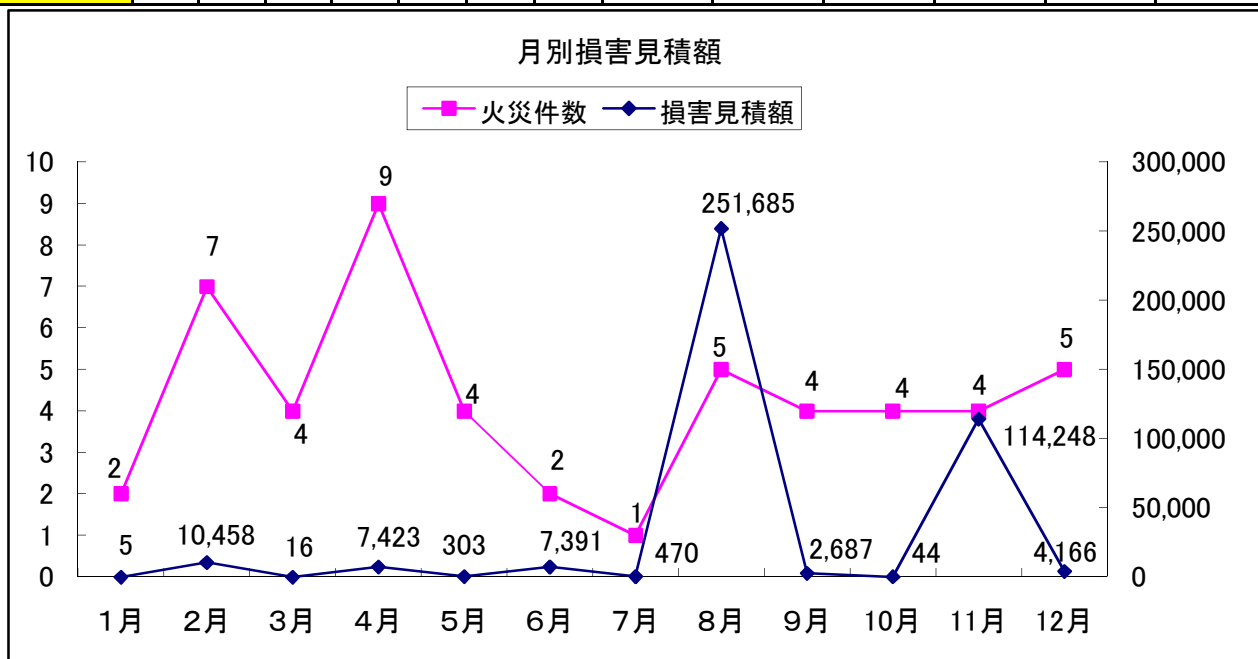
月別建物焼損面積



月別火災発生状況 2

(平成19年中)

	り災世帯 (世帯)				り災人員 (人)	死傷者 (人)		損害見積額 (千円)					
	全損	半損	小損	計		死者	傷者	建物	収容物	林野	車両	その他	計
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5
2月	0	1	0	1	1	0	0	10,211	247	0	0	0	10,458
3月	0	0	1	1	1	0	0	3	13	0	0	0	16
4月	0	1	0	1	5	0	1	7,387	36	0	0	0	7,423
5月	0	0	1	1	2	0	0	39	109	0	125	30	303
6月	3	0	2	5	7	0	2	6,430	939	0	0	22	7,391
7月	0	1	0	1	6	0	0	468	2	0	0	0	470
8月	0	0	1	1	1	0	0	93,555	157,572	0	35	523	251,685
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,687	0	2,687
10月	0	0	2	2	2	0	0	4	7	0	33	0	44
11月	1	0	1	2	4	0	1	45,541	67,452	0	0	163	113,156
12月	1	0	1	2	3	0	2	1,159	2,906	0	48	53	4,166
合計	5	3	9	17	32	0	6	164,797	229,288	0	2,928	791	397,804

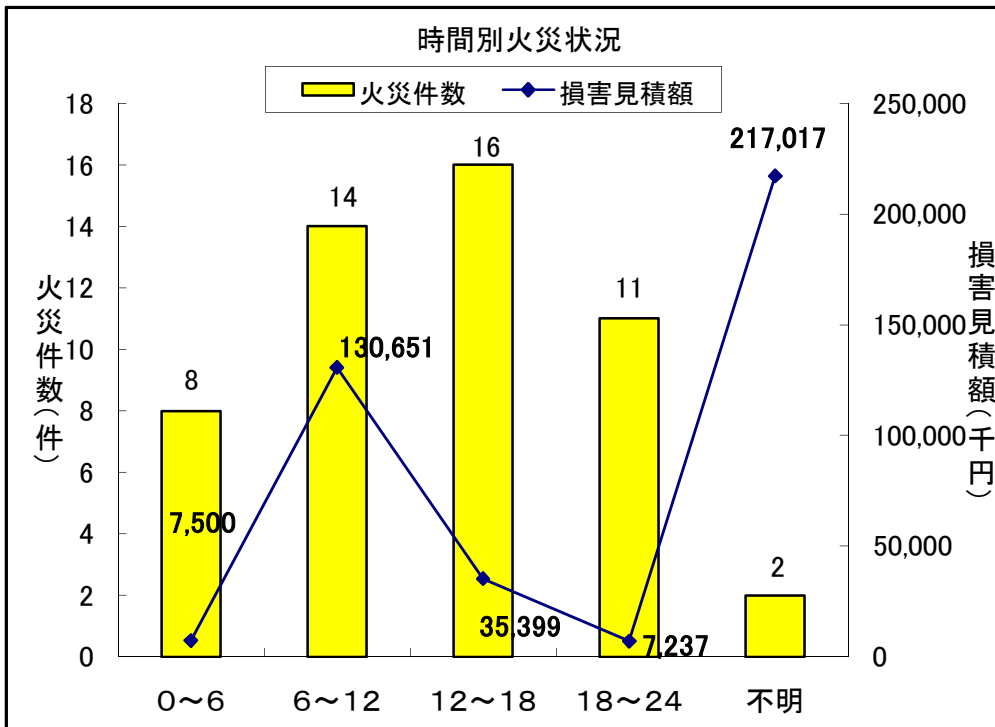
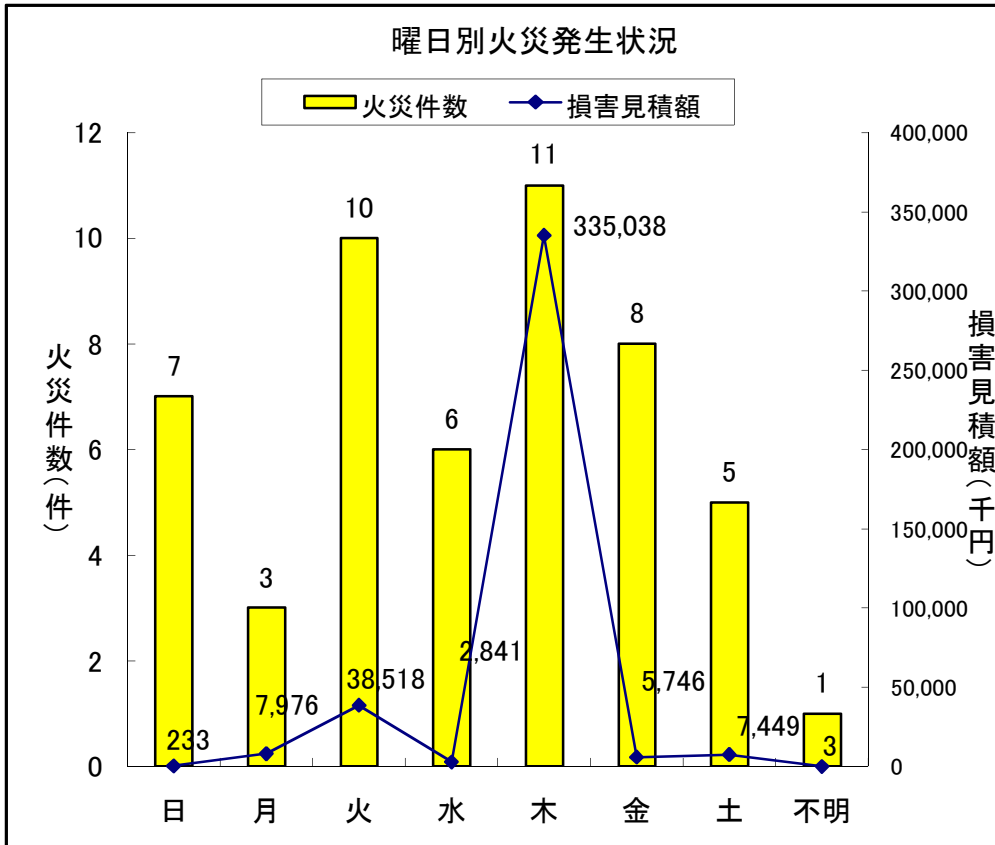


曜日・時間別火災発生状況

(平成19年中)

		件数 (件)	火災種別				焼損面積			損害見積額 (千円)
			建物	林野	車両	その他	建物		山林原野 (a)	
							床面積 (㎡)	表面積 (㎡)		
日	0～6	1	1				28			27
	6～12	3	2			1				
	12～18	1	1				3	12		183
	18～24	2	1		1					23
	不明	0								
	計	7	5	0	1	1	31	12	0	233
月	0～6	1	1				372			7,391
	6～12	0								
	12～18	1				1			4	
	18～24	1	1				222			585
	不明	0								
	計	3	2	0	0	1	594	0	4	7,976
火	0～6	3	1		1	1				37
	6～12	0								3,572
	12～18	4	2		1	1		2	33	34,909
	18～24	3	3				135	34		
	不明	0								
	計	10	6	0	2	2	135	36	33	38,518
水	0～6	0								
	6～12	3	1			2				2,679
	12～18	2	1			1				159
	18～24	1				1				3
	不明	0								
	計	6	2	0	4	0	0	0	0	2,841
木	0～6	0								
	6～12	4	3			1	1,760	28	4	116,972
	12～18	4	1	1		2			25	148
	18～24	2	2				61			904
	不明	1	1				2,782			217,014
	計	11	7	1	0	3	4,603	28	29	335,038
金	0～6	2			1	1				45
	6～12	1				1			8	
	12～18	4	1	1		2		6	43	
	18～24	1	1				66	19		5,701
	不明	0								
	計	8	2	1	1	4	66	25	51	5,746
土	0～6	1				1				
	6～12	3	2			1	18			7,428
	12～18	0								
	18～24	1	1					1		21
	不明	0								
	計	5	3	0	1	1	18	1	0	7,449
不明		1	1	0	0	0	0	0	3	





気象別火災発生状況

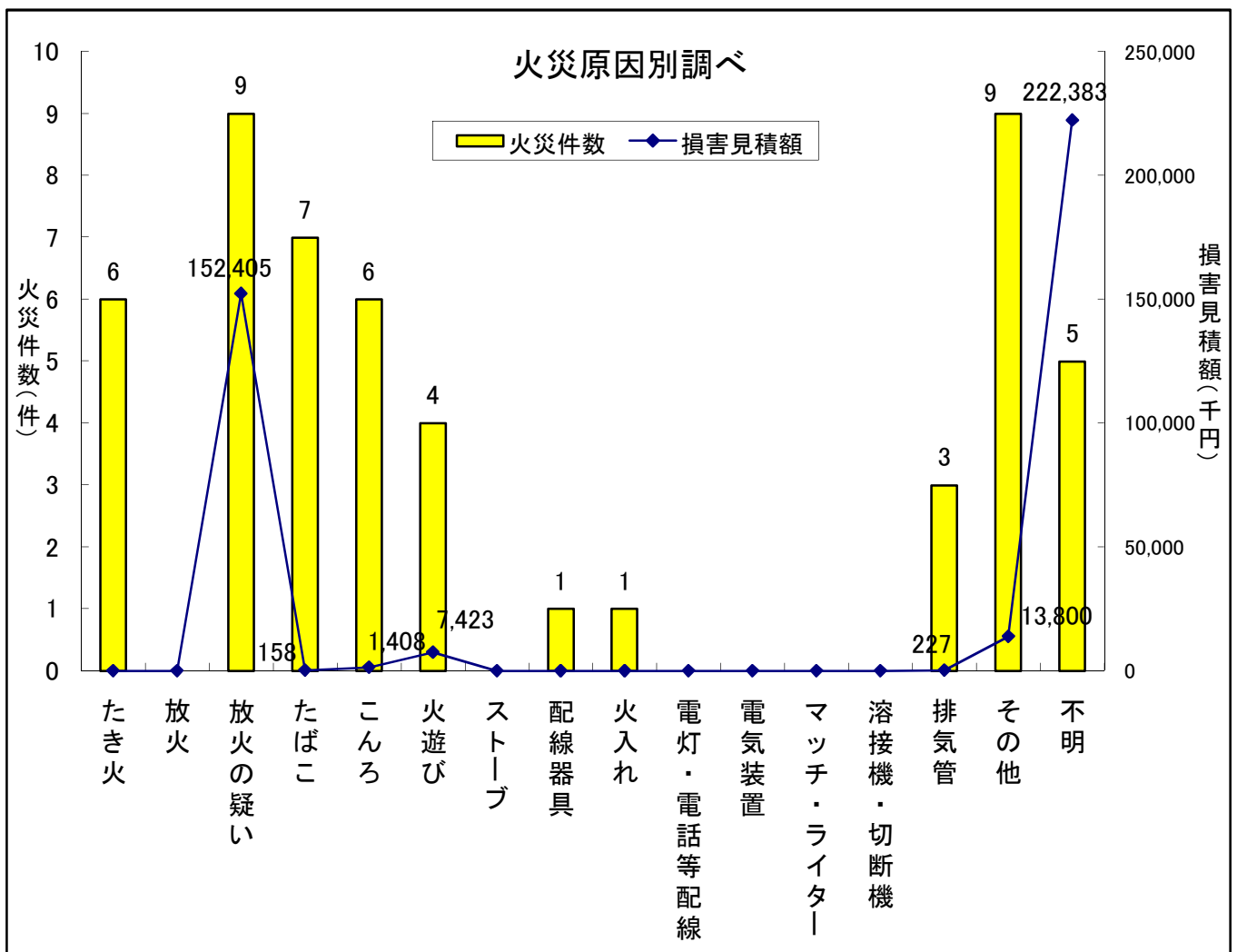
(平成19年中)

		火災件数 (件)					損害見積額 (千円)					
		合計	建物	林野	車両	その他	合計	建物	収容物	林野	車両	その他
風速	2m未満	37	22	1	5	9	388,455	158,706	228,954		101	694
	2m～3m	12	5	1	3	3	2,908	184	8		2,702	14
	3m～5m	0					5,701	5,460	241			
	5m～7m	1	1				585	447	85			53
	7m～10m	1			1		155				125	30
	10m以上	0					0					
	計	51	28	2	9	12	397,804	164,797	229,288	0	2,928	791
湿度	40%未満	7	1	2	1	3	0					
	40%～50%	8	3		1	4	7,583	7,387	41		125	30
	50%～60%	5	4		1		155	43	112			
	60%～70%	2	1		1		2,664				2664	
	70%～80%	5	3		1	1	4,768	4,751	17			
	80%～90%	7	4		2	1	6,281	5,931	245		91	14
	90%以上	17	12		2	3	376,353	146,685	228,873		48	747
計	51	28	2	9	12	397,804	164,797	229,288	0	2,928	791	
天候	晴	31	16	2	5	8	49,983	31,648	15,516		2,789	30
	曇	14	7		3	4	17,775	13,280	4,369		104	22
	雨	6	5		1		330,046	119,869	209,403		35	739
	雪	0					0					
	計	51	28	2	9	12	397,804	164,797	229,288	0	2,928	791
警報・注意報等	火災警報	0					0					
	乾燥・強風注意報	13	6	1	1	5	5,865	5,502	363			
	なし	32	18	1	7	6	166,685	76,926	86,651		2,893	215
	その他	6	4		1	1	225,254	82,369	142,274		35	576
	計	51	28	2	9	12	397,804	164,797	229,288	0	2,928	791

火災原因別調べ

(平成19年中)

	件数 (件)	内 訳												損 害 見積額 (千円)
		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
たき火	6	0	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放火の疑い	9	1	3	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1	152,405
たばこ	7	0	0	1	1	1	1	0	0	0	2	0	1	158
こんろ	6	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	2	1	1,408
火遊び	4	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7,423
ストーブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
配線器具	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
火入れ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電灯・電話等配線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マッチ・ライター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
溶接機・切断機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
排気管	3	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	227
その他	9	1	0	1	0	1	1	0	1	2	1	0	1	13,800
不明	5	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	222,383
合 計	51	2	7	4	9	4	2	1	5	4	4	4	5	397,804



# 救急概要

(平成19年中)

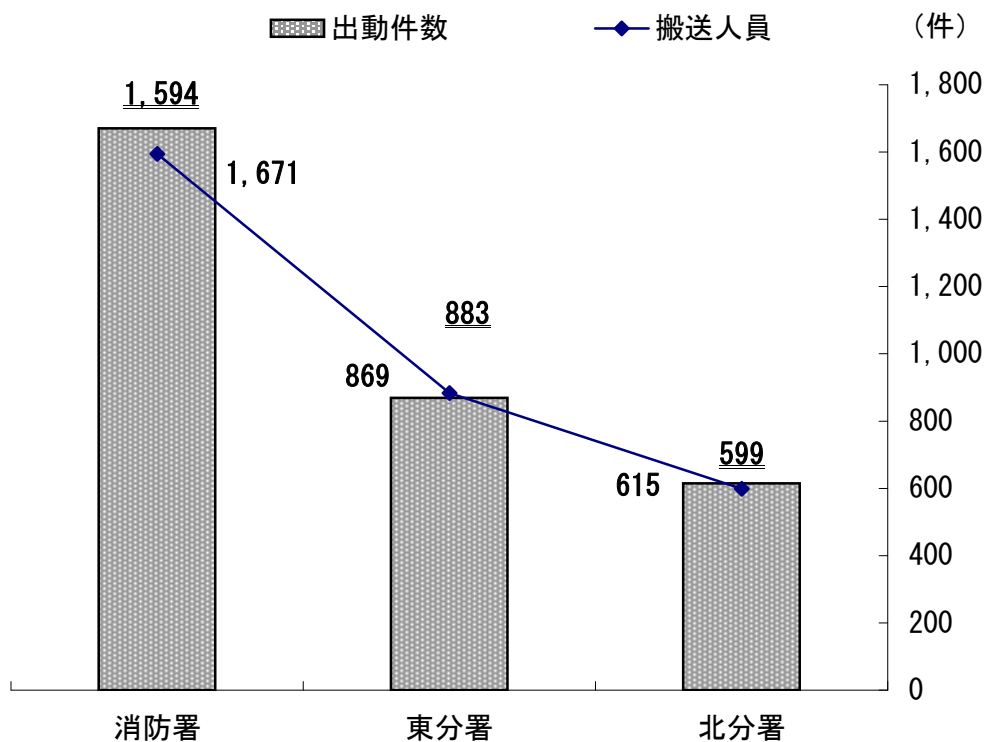
		平成19年	平成18年	前年比(△減)
出動件数(件)		3,155	3,125	30
事故種別	火災	3	8	△5
	自然災害	0	0	0
	水難	1	2	△1
	交通	514	501	13
	労働災害	33	37	△4
	運動競技	23	25	△2
	一般負傷	414	413	1
	加害	15	28	△13
	自損行為	42	35	7
	急病	1,911	1,889	22
	その他	転院搬送	179	159
医師搬送		0	6	△6
資材搬送		0	0	0
その他		20	22	△2
搬送人員		3,076	3,090	△14
不搬送		196	183	13
1ヵ月平均出動件数(件)		263	260	3
1日平均出動件数(件)		8.64	8.56	0.08
平均現着所要時間(分)		8.26	6.73	1.53

署・分署別救急活動状況

(平成19年中)

		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
消防署	出動件数(件)	3	0	0	249	15	15	223	7	24	986	149	1,671
	搬送人員(人)	3	0	0	257	15	16	208	6	17	933	139	1,594
東分署	出動件数(件)	0	0	0	152	14	8	110	4	12	542	27	869
	搬送人員(人)	0	0	0	205	13	8	108	4	8	513	24	883
北分署	出動件数(件)	0	0	1	113	4	0	81	4	6	383	23	615
	搬送人員(人)	0	0	0	128	4	0	82	3	4	358	20	599
合計	出動件数(件)	3	0	1	514	33	23	414	15	42	1,911	199	3,155
	搬送人員(人)	3	0	0	590	32	24	398	13	29	1,804	183	3,076

出動件 搬送人員



\* 表中の二重下線の数値が、搬送人員を表す。

# 月別救急活動状況

(平成19年中)

		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
1月	出動件数(件)	1	0	0	27	2	0	27	1	2	157	21	238
	搬送人員(人)	0	0	0	27	2	0	26	1	2	146	19	223
2月	出動件数(件)	0	0	0	49	5	2	31	0	2	158	18	265
	搬送人員(人)	0	0	0	60	5	2	30	0	2	153	18	270
3月	出動件数(件)	0	0	0	40	1	0	33	4	8	181	11	278
	搬送人員(人)	0	0	0	47	1	0	34	3	6	168	10	269
4月	出動件数(件)	0	0	0	46	2	0	31	0	2	177	20	278
	搬送人員(人)	0	0	0	53	2	0	28	0	0	163	18	264
5月	出動件数(件)	0	0	0	44	3	2	25	3	3	169	20	269
	搬送人員(人)	0	0	0	54	3	2	25	3	3	165	18	273
6月	出動件数(件)	1	0	0	50	3	1	42	1	4	141	21	264
	搬送人員(人)	2	0	0	56	3	1	41	1	3	136	19	262
7月	出動件数(件)	0	0	0	38	2	2	35	0	3	149	16	245
	搬送人員(人)	0	0	0	44	2	2	35	0	1	143	15	242
8月	出動件数(件)	0	0	0	53	2	4	33	2	2	156	8	260
	搬送人員(人)	0	0	0	67	1	5	31	1	2	145	8	260
9月	出動件数(件)	0	0	0	44	5	2	35	2	2	136	22	248
	搬送人員(人)	0	0	0	51	5	2	33	2	2	133	18	246
10月	出動件数(件)	0	0	0	42	3	3	34	2	6	141	11	242
	搬送人員(人)	0	0	0	47	3	3	32	2	4	132	10	233
11月	出動件数(件)	1	0	1	37	3	6	38	0	3	151	14	254
	搬送人員(人)	1	0	0	41	3	6	36	0	2	140	14	243
12月	出動件数(件)	0	0	0	44	2	1	50	0	5	195	17	314
	搬送人員(人)	0	0	0	43	2	1	47	0	2	180	16	291
合計	出動件数(件)	3	0	1	514	33	23	414	15	42	1,911	199	3,155
	搬送人員(人)	3	0	0	590	32	24	398	13	29	1,804	183	3,076

# 時間別事故種別搬送人員

(平成19年中)

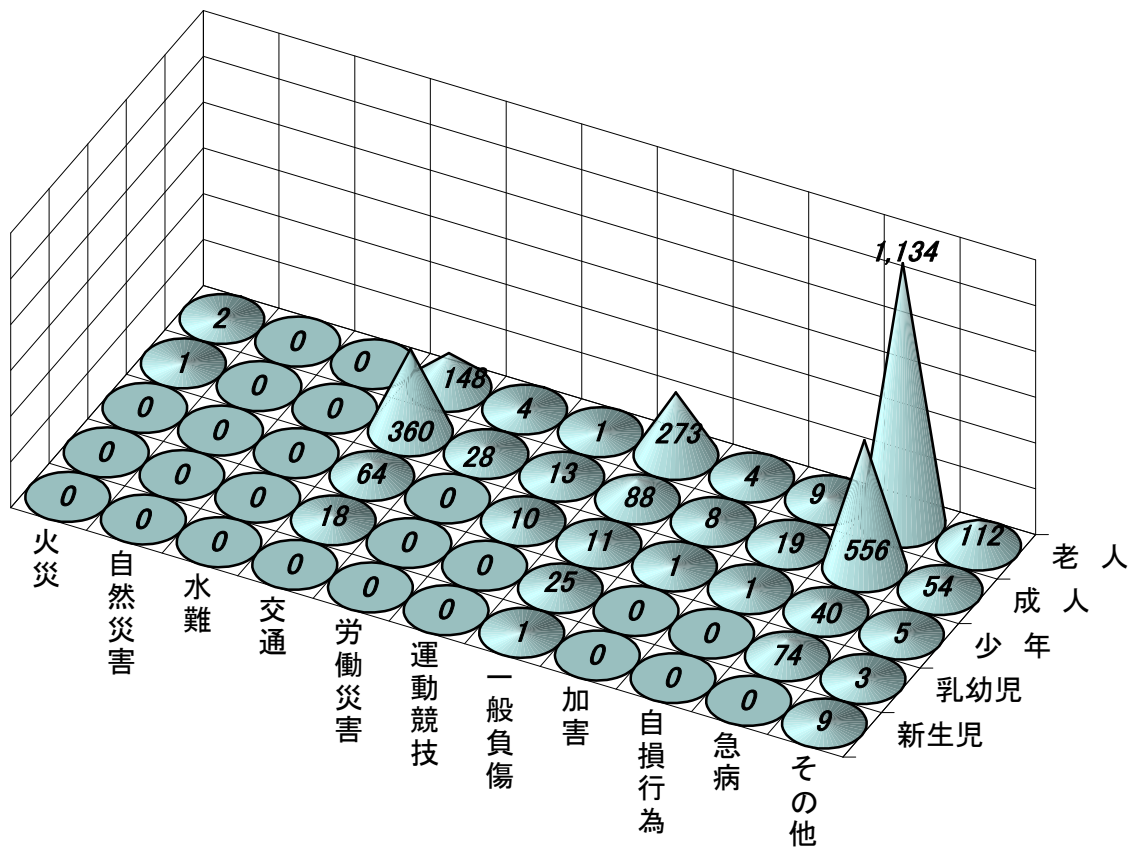
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
0～2	0	0	0	11	1	0	16	2	3	92	10	135
2～4	0	0	0	4	0	0	11	0	4	92	5	116
4～6	1	0	0	10	0	0	15	1	1	76	6	110
6～8	0	0	0	30	0	0	20	0	5	170	9	234
8～10	0	0	1	70	5	0	49	0	3	206	26	360
10～12	0	0	0	67	6	5	53	0	5	201	36	373
12～14	0	0	0	53	7	5	49	1	3	188	27	333
14～16	0	0	0	56	4	7	52	3	2	179	19	322
16～18	0	0	0	77	7	2	44	1	6	181	20	338
18～20	0	0	0	69	2	0	49	1	5	212	24	362
20～22	1	0	0	34	1	4	28	2	1	188	9	268
22～24	1	0	0	33	0	0	28	4	4	126	8	204
合計	3	0	1	514	33	23	414	15	42	1,911	199	3,155



年齢区別事故種別搬送人員

(平成19年中)

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	9	10
乳幼児	0	0	0	18	0	0	25	0	0	74	3	120
少年	0	0	0	64	0	10	11	1	1	40	5	132
成人	1	0	0	360	28	13	88	8	19	556	54	1,127
老人	2	0	0	148	4	1	273	4	9	1,134	112	1,687
合計	3	0	0	590	32	24	398	13	29	1,804	183	3,076





傷病程度別性別事故種別搬送人員

(平成19年中)

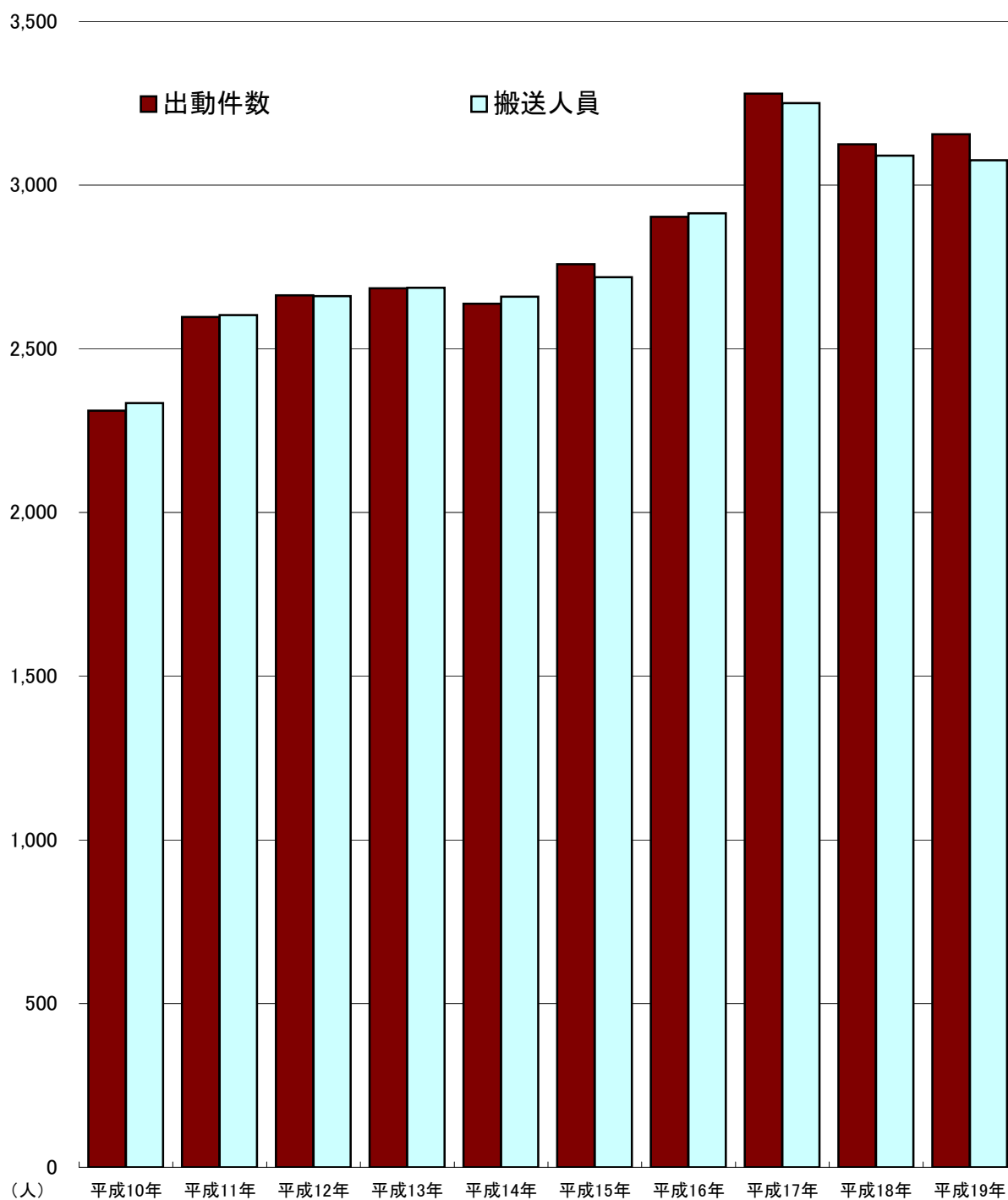
傷病程度		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
死亡	男性	0	0	0	3	0	0	3	0	6	43	1	56
	女性	0	0	0	0	0	0	2	0	4	34	1	41
	計	0	0	0	3	0	0	5	0	10	77	2	97
重症	男性	1	0	0	27	6	1	25	0	2	197	40	299
	女性	0	0	0	18	0	0	65	0	0	157	31	271
	計	1	0	0	45	6	1	90	0	2	354	71	570
中等症	男性	0	0	0	33	12	3	29	0	1	229	27	334
	女性	1	0	0	19	0	1	34	0	3	182	46	286
	計	1	0	0	52	12	4	63	0	4	411	73	620
軽症	男性	0	0	0	287	14	15	121	6	6	457	20	926
	女性	1	0	0	200	0	4	119	7	7	504	17	859
	計	1	0	0	487	14	19	240	13	13	961	37	1,785
その他	男性	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
	女性	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	計	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	4
合計	男性	1	0	0	351	32	19	178	6	15	927	88	1,617
	女性	2	0	0	239	0	5	220	7	14	877	95	1,459
	計	3	0	0	590	32	24	398	13	29	1,804	183	3,076

傷病程度別年齢区分搬送人員

(平成19年中)

	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	計
死亡	0	0	1	18	78	97
重症	3	1	2	114	450	570
中等症	4	11	18	167	420	620
軽症	3	107	110	826	739	1,785
その他	0	1	1	2	0	4
合計	10	120	132	1,127	1,687	3,076

## 過去10年間における救急出動の推移



	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
出動件数	2,311	2,597	2,663	2,685	2,638	2,758	2,903	3,279	3,125	3,155
搬送人員	2,334	2,603	2,661	2,686	2,659	2,719	2,914	3,250	3,090	3,076

## 救助概要

### 1 出動状況及び活動状況

(平成19年中)

	出 動 状 況										活 動 状 況			
	火 災	交 通 事 故	水 難	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 に よ る 事 故	ガ ス 及 び	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他	合 計	出 動 隊 数	活 動 件 数
1 月		3									3	3		
2 月	3	2									5	5	3	
3 月	1	6									7	7	4	3
4 月	1	4								1	6	6	3	2
5 月	1	3									4	4	2	1
6 月	1	1				1				1	4	4	2	1
7 月	1	2									3	3	3	2
8 月	2	1								2	5	5	3	1
9 月		2								1	3	3	1	1
10 月	1	6					1				8	8	4	3
11 月	3	1	1								5	5	5	2
12 月	3	2								1	6	6	6	3
合 計	17	33	1	0		1	1	0	0	6	59	59	36	19

### 2 救助活動状況（前年との比較）

年 及 比	別 及 較 出 動 件 数 比 及 救 助 人 員	事 故 種 別									合 計	
		火 災	交 通 事 故	水 難	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 に よ る 事 故	ガ ス 及 び	酸 欠 事 故		破 裂 事 故
平成19年	出動件数（件）	17	33	1			1	1			6	59
	救助人員（人）		14	1							4	19
平成18年	出動件数（件）	15	37	2			1	1	1		7	64
	救助人員（人）	1	27	2			1	1	1		4	37
前 年 比	出動件数（件）	2	△ 4	△ 1	0	0	0	△ 1	0	△ 1	△ 5	
	救助人員（人）	△ 1	△ 13	△ 1	0	△ 1	△ 1	△ 1	0	0	△ 18	

(△印は前年より減少)

救助活動のための機械器具等の保有状況

平成20年4月

	品名	消防署	東分署	北分署
一般救助用	かぎ付きはしご	3		
	三連はしご	3	1	
	ワイヤーはしご	1		
	空気式救助マット	2		
	救命索発射銃	1		
	救助縛帯	6	5	
	平担架	1		
重量物排除用	油圧ジャッキ	2	2	1
	可搬ウインチ	2	2	1
	マンホール救助器具	1		
	マット型空気ジャッキ	1		
	大型油圧スプレッダー	1		
切断用	大型油圧切断機	1		
	エンジンカッター	3	1	1
	チェーンソー	2	2	1
	ガス溶断機	1		
	空気鋸	1		
	空気切断機	1		
	鉄線カッター	1		
破壊器具	万能斧	8	4	1
	ハンマー	1		
	携帯用コンクリート破壊器具	1		
	削岩機	2		
測定用器具	可燃性ガス測定器	1		
	有毒ガス測定器	1		
	放射線測定器	1		

平成20年4月

	品名	消防署	東分署	北分署
呼吸保護用	空気呼吸器	27	12	5
	防塵マスク	57	20	14
	送排風機	1		
隊員保護用	耐電手袋	11		
	耐電衣	4		
	耐電ズボン	4		
	耐電長靴	4		
	防塵メガネ	64	20	14
	携帯警報器	10	8	4
	陽圧式化学防護服	4		
水難救助用	潜水器具	2	4	
	救命胴衣	47	13	5
	救命ボート	1	1	1
	船外機	1	1	1
	救命浮環	2	3	

# 防 予



平成19年 消防防災フェア

# 防火対象物の状況

(平成19年度)

項別防火対象物			防火管理者選任義務対象物（法第8条）				消防用設備等設置対象物（法第17条）			
			消防署	東分署	北分署	計	消防署	東分署	北分署	計
1	イ	劇場・映画館	1	1		2	2	1		3
	ロ	公会堂・集会場	64	66	79	209	64	66	82	212
2	イ	キャバレー・カフェー			1	1	1		1	2
	ロ	遊技場・ダンスホール	6	3	3	12	6	3	3	12
	ハ	性風俗店舗					1			1
3	イ	待合・料理店	5			5	6			6
	ロ	飲食店	62	16	13	91	70	21	17	108
4		百貨店・マーケット	94	25	18	137	118	31	26	175
5	イ	旅館・ホテル	16	6	11	33	26	8	13	47
	ロ	寄宿舎・共同住宅	34	28		62	538	273	15	826
6	イ	病院・診療所	7	1	3	11	26	11	7	44
	ロ	福祉施設	23	20	18	61	35	29	20	84
	ハ	幼稚園	7	3	1	11	7	3	2	12
7		各種学校	15	16	15	46	15	16	16	47
8		図書館・博物館	3	1	2	6	4	1	2	7
9	イ	熱気蒸気等の公衆浴場								
	ロ	イ以外の公衆浴場		1	1	2	3	1	1	5
10		停車場								
11		神社・寺院	24	8	10	42	35	12	21	68
12	イ	工場・作業場	4	40	2	46	150	163	70	383
	ロ	映画スタジオ								
13	イ	自動車車庫					31	4	2	37
	ロ	飛行機格納庫								
14		倉庫		2		2	141	59	25	225
15		事業所	52	8	12	72	219	83	89	391
16	イ	複合対象物	136	40	20	196	261	61	33	355
	ロ	イ以外の複合対象物	16	6		22	118	38	20	176
16の2		地下街								
16の3		準地下街								
17		重要文化財	1	1	1	3	2	1	1	4
18		延長50m以上のアーケード					2			2
合 計			570	292	210	1,072	1,881	885	466	3,232

建築同意事務 署・分署別件数

(平成19年度)

		新築	増築	改築	その他	計画変更	許可申請	合計
消防署	指導あり	36	11		1	15	4	67
	指導なし	22	2	2		5	5	36
	小計	58	13	2	1	20	9	103
東分署	指導あり	15	9		2	7		33
	指導なし	21	8			6	1	36
	小計	36	17		2	13	1	69
北分署	指導あり	10				1		11
	指導なし	4	4	2				10
	小計	14	4	2		1		21
合計	指導あり	61	20		3	23	4	111
	指導なし	47	14	4		11	6	82
	小計	108	34	4	3	34	10	193

建築同意事務業態別棟別件数

(平成19年度)

項	防火対象物	新築	増築	改築	その他	計画変更	許可申請	合計
1	イ 劇場等							
	ロ 集会所等	1		1		2		4
2	イ キャバレー等							
	ロ 遊技場等	1						1
3	ハ 性風俗店舗等							
	イ 料理店等							
4	ロ 飲食店	2			1	1		4
	ハ 百貨店等	12				3		15
5	イ 旅館等					1		1
	ロ 共同住宅等	21				4		25
6	イ 病院等		2			1		3
	ロ 福祉施設等	3	2		1	2		8
7	ハ 特殊学校等							
8	イ 学校等							
9	ロ 図書館等							
9	イ 蒸気浴場等							
	ロ 一般浴場							
10	イ 車両停車場					1		1
11	ロ 神社等							
12	イ 工場等	7	9		1	1		18
	ロ スタジオ等							
13	イ 車庫等							
	ロ 特殊格納庫							
14	イ 倉庫	5	7			2	1	15
15	ロ 前各項以外	18	4			8	6	36
16	イ 特定複合	1	1			1		3
	ロ イ以外		2					2
17	イ 文化財							
18	ロ アーケード	1					1	2
専用住宅等		36	7	3		7	2	55
合計		108	34	4	3	34	10	193



消防用設備等検査状況

(平成19年度)

	消 防 用 設 備 等	着工届出書 (累 計)	設置届出書 (累 計)	完成検査 (累 計)
消 火 設 備	消 火 器		106	93
	屋 内 消 火 栓 設 備	7	4	5
	パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備	1	1	1
	屋 外 消 火 栓 設 備	4	5	7
	水 噴 霧 消 火 設 備			
	泡 消 火 設 備	1	3	4
	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備			
	粉 末 消 火 設 備	6	8	6
	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備		1	1
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	6	7	11
	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備			
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	60	110	91
	漏 電 火 災 警 報 器	2	2	2
	非 常 警 報 設 備 ・ 非 常 ベ ル	12	17	13
	非 常 警 報 設 備 ・ 非 常 放 送	6	11	10
	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備	3	4	2
	消 防 機 関 に 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	7	5	5
避 難 設 備	避 難 器 具	8	9	7
	誘 導 灯	57	85	71
	誘 導 標 識		39	36
消 防 用 水		3	3	5
消 必 火 要 活 な 動 設 上 備	連 結 送 水 管	1	1	2
	連 結 散 水 設 備			
	排 煙 設 備			
	非 常 コ ン セ ン ト 設 備		1	2
	無 線 通 信 補 助 施 設			
フ ー ド 等 用 簡 易 自 動 消 火 装 置				
開 放 装 置 ・ シ ャ ッ タ ー				3
合 計		184	422	377

危険物施設の状況

(平成19年度)

	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所			合 計		
		屋内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋外	給油	販売	一般			
許 可 施 設 数	14	69	98	5	79	0	32	4	76	2	46	425		
数 量 別 数	5倍以下		28	10	2	37		32	1	3		21	134	
	5倍を越え 10倍以下	1	24	10	2	16			1	8		9	71	
	10倍を越え 50倍以下	3	11	38	1	20			2	21	2	15	113	
	50倍を越え 100倍以下	3	2	24		4				11			44	
	100倍を越え 150倍以下	2	3	4		1				14			24	
	150倍を越え 200倍以下	1		7		1				8			17	
	200倍を越え 1,000倍以下	3	1	5						11			20	
	1,000倍を 越えるもの	1										1	2	
種 別	単 独	第1類											0	
		第2類											0	
		第3類											0	
		第4類	12	67	97	5	79		32	4	76	1	46	419
		第5類												0
		第6類			1									1
	混 在	2	2								1		5	

危険物申請の状況

(平成19年度)

	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			合 計
		屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販 売	一 般	
許 可	設 置		2	1				1				4
	変 更	23	3	3		1			6		12	48
完 成	設 置		2	9				1			3	15
	変 更	23	3	3		2			7		11	49
廃 止			3	1		5		1	1			11

危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱の数

(平成19年度)

製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			仮 貯 蔵	仮 取 扱	合 計
	屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販 売	一 般			
22	3	3		1				5		6	4	1	45

手数料徴収状況

(平成19年度)

仮貯蔵	仮取扱	仮使用	設置許可	変更許可	完成検査	水張検査	水圧検査	合計
22	5	221	137	1,527	1,021		17	2,950

(単位：千円)

## 火災予防条例等各種届出件数

(平成19年度)

	防火対象物使用開始届	少量危険物貯蔵取扱届	少量危険物貯蔵取扱廃止届	変電・発電・蓄電池設備設置	炉・ボイラー設置届	指定可燃物貯蔵取扱届	指定可燃物貯蔵取扱廃止届	乾燥・厨房・サウナ設置届	ネオン管・火花発生装置設置	温風・給湯設備設置届	ヒートポンプ・放電加工設置	煙火打ち上げ届	催物開催届	椅子席固定免除申請書	火災とまぎらわしい届	気球設置届	禁止行為解除届	消防計画作成届	防火管理者選解任届	消防用設備等点検結果報告書	消防訓練実施通知書	合計
消 防 署	51	12	17	21	17	3		1		7		12	38	44	3		13	98	73	321	159	890
東 分 署	32	6	1	15	22					11		10			4			62	44	228	102	537
北 分 署	7		6	12	4			1				20	2		1			41	38	86	73	291
合 計	90	18	24	48	43	3	0	2	0	18	0	42	40	44	8	0	13	201	155	635	334	1,718

## 立入検査実施状況

(平成19年度)

種 別	実 施 日	実 施 数
指定文化財立入検査	1月15日～1月31日	35対象物
防火対象物立入検査	年間通して実施	359対象物

## 防火指導状況

(平成19年度)

対 象	事 業 内 容	実 施 日	実 施 状 況
高齢者	高齢者宅 防火訪問	8月・11月・3月	483世帯
	高齢者大学 防火研修会	10月	1回 190名
自治会等	消火器・消火栓取扱訓練、自主防災組織指導	年間を通し実施	41回 1,685名
	防火座談会、住宅用火災警報器説明会	年間を通し実施	73回 2,670名
防火対象物	消防訓練指導	年間を通し実施	160対象物 9,799名
	大型店舗 年末特別指導	12月	33店舗
	甲種防火管理講習会（新規）	9月	104名
	甲種防火管理講習会（再講習）	7月	5名
その他	消防署見学	年間を通し実施	40回 1,551名
	起震車体験会	6月・8月	25回 1,548名

(平成19年度)

養成講座	自主防火防災リーダー養成講座	10月・11月・12月	6回 215名
	防火アドバイザー養成講座	11月	1回 12名



## 広報活動状況

(平成19年度)

広 報 活 動 内 容	回 数
1 巡回広報	74回
2 街頭広報	5回
3 有線利用による広報	17回
4 報道機関への情報提供	16回
5 固定放送設備による広報	0回
6 ホームページによる広報	随 時

※主な広報 毎月1日『防火の日』の広報、乾燥時期の広報、夏休み事故防止の広報、年末特別火災予防広報、消火器に関する広報、各種運動期間中の広報など。

## 幼年消防クラブ活動状況

### ◎目的

幼児に消防研修を行い、防火に対する正しい知識を身につけ、各幼稚園、保育園及び各家庭からの火災の減少を図るとともに、将来人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地を育成することを目的とする。

	クラブ数	クラブ員
保 育 園	35	2,427
幼 稚 園	8	509

### ◎平成19年度実施事業

実 施 事 業	内 容
巡回防火教室	防火講話・防火ビデオ視聴・タンク車放水見学・記念撮影
起震車体験会	起震車にて地震体験を行う。
おひさま広場	救急講習・煙中体験・消火器取扱訓練・防火寸劇 梯子車展示・消防車両と記念撮影
幼年消防クラブ指導者研修会（年2回実施）	普通救命講習の受講・消防訓練についての学習
消防出初式・防火防災パレード	火災予防を訴え市内をパレード



# 通信指令室



通信指令室

覚知別集計

(平成19年中)

災害区分	当年件数	119一般	119携帯	119IP	加入電話	福祉電話	駆け付け	自己覚知	事後聞知	その他
火災	一般建物	28	8	7	2	1			10	
	車両	9	2	3					4	
	林野	2	1						1	
	その他	12	2	4					6	
救急	火災	3		1		1		1		
	自然災害	0								
	水難	1				1				
	交通	514	107	272	8	106		1	20	
	労働災害	33	13	15	1	4				
	運動競技	23	5	13		3			2	
	一般負傷	414	285	66	27	34		2		
	加害	15	2	6	1	6				
	自損	42	18	10	7	7				
	急病	1,911	1,402	249	125	103	14	13	5	
	転院搬送	179	76	1	4	98				
	医師搬送	0								
	資材搬送	0								
その他	20	6	7		4	3				
救助	交通事故	33	12	19	1	1				
	水難事故	1				1				
	自然災害	0								
	機械事故	1	1							
	建物事故	1	1							
	火災	17	9	5	2	1				
	その他	6	1	4		1				
警戒	自火報発報	24	1	1		22				
	怪煙調査	23	3	7	1	9		2	1	
	油漏れ	19	2	4		10		2	1	
	ガス漏れ	4	1	1		2				
	自然災害	2				2				
	応援	2				1				※ 1
	その他	35	1			32		1	1	
その他	訓練	82	12	66		3		1		
	病院紹介	134	76	40	18					
	問い合わせ	420	237	148	35					
	誤報	76	47	24	5					
	いたずら	131	84	45	2					
	119試験	6,233	5,012	450	771					
	通報訓練	360	257	88	15					
	重複	123	66	54	3					
	その他	147	78	64	5					
	取り消し	66	40	23	3					
まちがい	191	129	55	7						
携帯転送	舞鶴転送	1		1						
	綾部転送	16		16						
	中部転送	0								
	宮津転送	1		1						
	篠山転送	1		1						
	丹波転送	1		1						
	豊岡転送	0								
朝来転送	0									
携帯伝達	舞鶴伝達	0								
	綾部伝達	2		2						
	丹波伝達	0								
	三田伝達	0								
合計	11,359	7,997	1,774	1,043	453	17	21	31	22	1

119携帯は携帯転送受信を含む

※覚知別のその他は道路公団直通電話



## 地区別指令状況

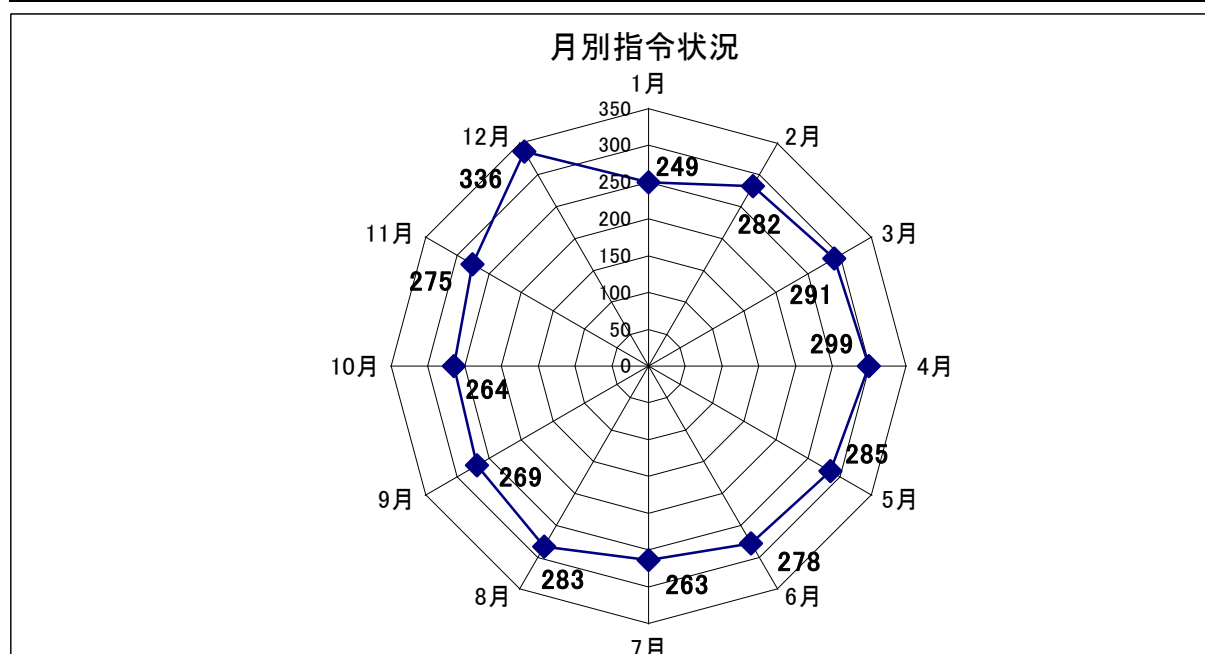
(平成19年中)

	福知山市	三和地区	夜久野地区	大江地区	その他の市町	合計
火災	39	5	2	5		51
救急	2,608	194	176	176	1	3,155
救助	38	5	6	10		59
警戒	97	2	4	4	2	109
合計	2,782	206	188	195	3	3,374

## 月別指令状況

(平成19年中)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	2	7	4	9	4	2	1	5	4	4	4	5	51
救急	238	265	278	278	269	264	245	260	248	242	254	314	3,155
救助	3	5	7	6	4	4	3	5	3	8	5	6	59
警戒	6	5	2	6	8	8	14	13	14	10	12	11	109
合計	249	282	291	299	285	278	263	283	269	264	275	336	3,374

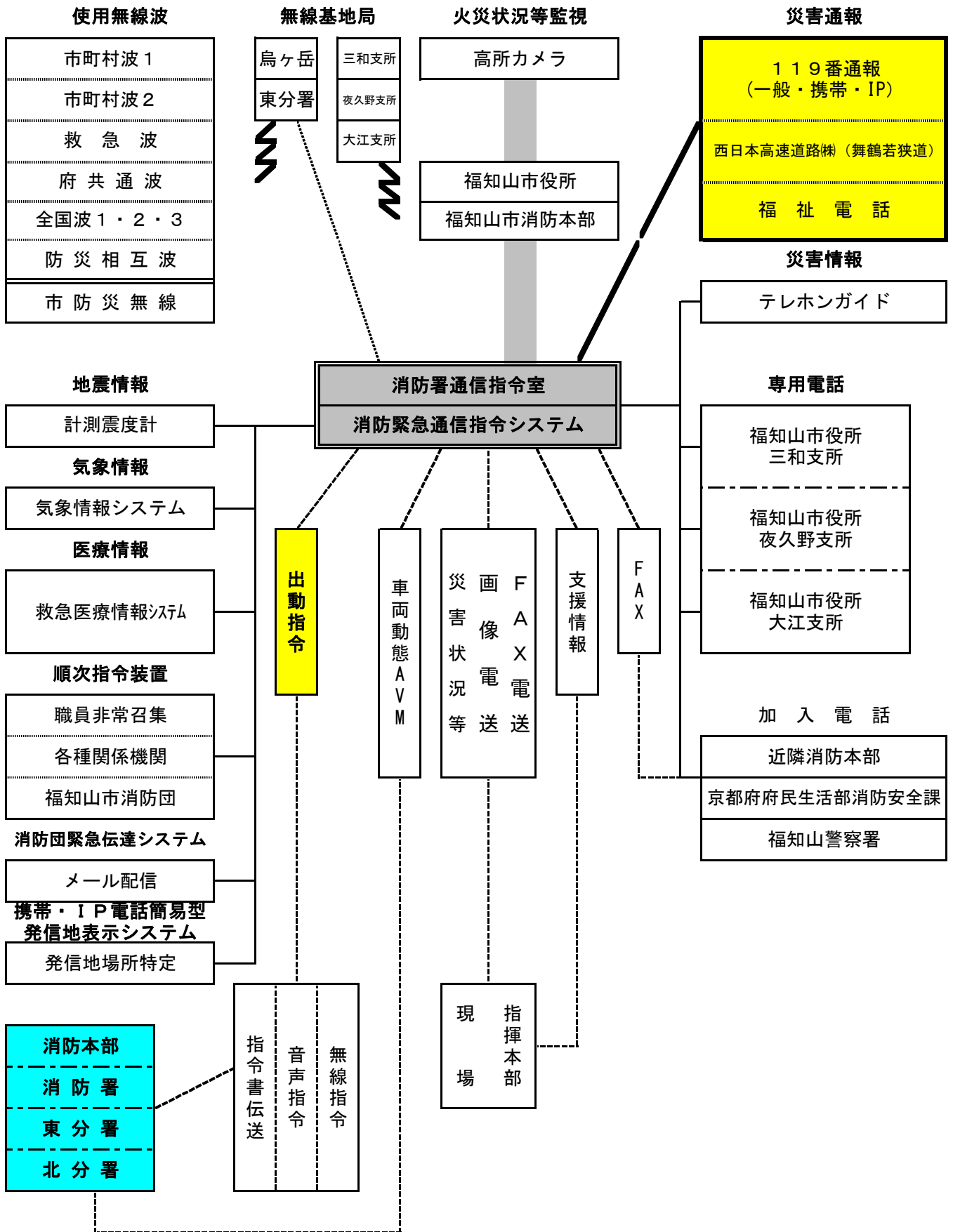


消防通信施設の現況

(平成19年中)

	総数	指令室	消防本部	消防署	東分署	北分署
通報受付回線						
119専用回線	12	12				
携帯119専用回線 (ISDN)	2	2				
IP119専用回線 (ISDN)	2	2				
119衛星回線	2	2				
福祉電話回線	2	2				
西日本高速道路舞鶴若狭道回線	1	1				
緊急福祉ファックス回線	1	1				
指令装置						
通信指令装置 (正副分離型)	1	1				
地図検索装置	2	2				
車両動態表示装置 (AVM表示装置)	1	1				
AVM端末装置 (車載)	19		1	9	6	3
無線統制台	2	2				
指令伝送出力装置	4		1	1	1	1
署所端末装置	4		1	1	1	1
車両表示盤	1	1				
携帯・IP119発信位置情報表示端末装置	1	1				
携帯119着信番号表示装置	2	2				
順次指令装置	1	1				
情報連絡回線						
テレホンガイド回線	5	5				
三和・夜久野・大江 各支所専用回線	3	3				
情報連絡装置						
携帯119転送装置	2	2				
データ修正処理装置	1	1				
消防団緊急伝達システム (メール配信)	2	1	1			
防災行政無線	1	1				
庁舎監視カメラ装置	1	1				
高所カメラ装置	1	1				
気象情報装置	1	1				
総合情報表示盤	1	1				
医療情報端末装置	1	1				
消防統計処理装置	5	1	1	1	1	1
豊富用水監視システム	1	1				
ファックス装置	4	1	1		1	1
携帯ファックス装置	6	1	1	2	1	1
携帯 (自動車含) 電話	11	1	1	4	3	2

消防通信指令系統図



# 消 防 団



平成19年 消防防災フェア

## 消防団の沿革

(平成20年4月1日)

○昭和22年11月1日	消防団令の制定交付により警防団を廃止。福知山市消防団が結成される 団長 吉田庄兵衛 就任 【消防団の勢力】6分団(惇明・昭和・大正・雀部・庵我・修齊) 団員 697名 ポンプ車 6台 手引ガソリンポンプ 12台
○昭和23年8月12日	団長 石坪一久 就任
○昭和24年4月1日	3村合併(西中筋村・下川口村・上豊富村)により9分団となり、消防団定員1,000人、実員1,123人となる。ポンプ車5台、ガソリンポンプ21台、腕用ポンプ45台の消防力となる
〃 10月1日	惇明・昭和分団が統合し、中央分団と名称を変更 消防団定員1,000人、実員1,053人
○昭和30年4月1日	8村合併(上六人部村・中六人部村・下六人部村・上川口村・金谷村・三岳村・金山村・雲原村)により、分団数16、消防団員定数及び実員1,850人、ポンプ車7台、手引ポンプ45台、可搬動力ポンプ18台、腕用ポンプ60台の消防力となる
〃 4月6日	団長 足立秀夫 就任
〃 9月30日	上豊分団は京都府知事表彰調査を受検 12月22日表彰旗を授与された
○昭和31年4月～5月	何鹿郡佐賀村が、福知山市と綾部市に分村合併 【消防団の管轄区域】面積264.43k㎡。人口67,764人 【消防団の勢力】17分団、定員1,780人、実員1,775人 ポンプ車 8台 手引ポンプ 43台 可搬ポンプ 23台 腕用ポンプ 60台
○昭和33年3月7日	自治体消防発足10周年記念式典並びに大火想定演習を市街地で開催
〃 7月1日	団長 藤原定治 就任
○昭和35年11月20日	上川分団、京都府消防協会会長優良消防団表彰調査を受検 12月1日表彰旗を授与される
○昭和37年1月6日	上六分団、中六分団、金山分団に婦人消防隊が結成される
〃 4月8日	金谷分団に婦人消防隊が結成される
○昭和38年4月1日	団長 今川武左エ門 就任
○昭和40年10月1日	消防団員条例定数1,400人、実員1,388人
○昭和42年4月1日	団長 芦田太郎 就任
○昭和44年4月1日	【消防団の勢力】17分団、定員1,400人、実員1,359人 消防ポンプ自動車 9台 手引ポンプ 8台 小型動力ポンプ 65台

○昭和45年 7月 3日	消防団の機動化と近代化のため、小型動力ポンプ付積載車の配置を開始																		
〃 10月 5日	西中分団、修斉分団、上六分団へ各1台配置 下川分団は京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12月1日表彰旗を授与された																		
○昭和46年11月 1日	下川婦人消防隊結成、隊員47名																		
○昭和48年 4月 1日	団長 森下文男 就任																		
○昭和51年 4月 1日	団長 大槻増次 就任																		
○昭和51年 6月14日	消防団本部を市役所庁舎へ移す 住所 福知山市字内記13番地の1																		
○昭和53年 8月22日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に庵我分団が出場し準優勝の成績を収める																		
○昭和54年 3月 5日	福知山市消防本部、消防団に災害の防除と消防力の強化に努め、成績優秀であるという理由で消防庁長官の竿頭綬を授与された																		
〃 4月 1日																			
○昭和55年11月 9日	福知山市消防団互助会制度を発足、弔慰金、見舞金の給付制度を設ける 庵我分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12月1日に表彰旗を授与された																		
○昭和56年 4月 1日	団長 高橋昭治 就任																		
○昭和57年10月31日	西中分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和58年1月1日表彰旗が授与された																		
○昭和60年 5月30日	消防団本部の円滑な運営と各分団の消防技術の向上を図るため、消防団本部要員制度を設ける																		
〃 8月 8日	日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車の寄贈を受け、西中分団へ配置																		
〃 10月 6日	消防庁長官表彰を受検 於 市民第2グラウンド <table border="0"> <tbody> <tr> <td>人 員</td> <td>消防職員</td> <td>85名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>消防団員</td> <td>1,348名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>婦人消防隊</td> <td>40名</td> </tr> <tr> <td>車 両</td> <td>ポンプ車</td> <td>10台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>積載車</td> <td>36台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小型動力ポンプ</td> <td>34台</td> </tr> </tbody> </table>	人 員	消防職員	85名		消防団員	1,348名		婦人消防隊	40名	車 両	ポンプ車	10台		積載車	36台		小型動力ポンプ	34台
人 員	消防職員	85名																	
	消防団員	1,348名																	
	婦人消防隊	40名																	
車 両	ポンプ車	10台																	
	積載車	36台																	
	小型動力ポンプ	34台																	
○昭和61年 3月	消防庁長官表彰受賞																		
〃 5月 1日	団長 吉竹 孝一郎 就任																		
〃 9月28日	雀部分団京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和62年1月1日表彰旗が授与された																		
○昭和62年10月 1日	下六分団京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和63年1月1日に表彰旗が授与された																		
○昭和63年10月13日	京都国体警備。内福知山市分16～19日																		
〃 ~19日																			
〃 10月26日	金谷婦人消防隊が全国婦人消防操法大会（横浜市）参加																		

〃	10月30日	大正分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和64年1月1日に表彰旗が授与された
○平成	元年10月15日	上六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成2年1月1日表彰旗が授与された
○平成	2年5月1日	団長 関 宏躬 就任
〃	10月21日	修斉分団と金谷分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成3年1月1日表彰旗が授与された
○平成	3年4月1日	消防団員条例定数1,250人、実員1,214人となる
〃	10月13日	三岳分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成4年1月1日表彰旗が授与された
○平成	4年8月31日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に下六分団が出場し、第6位の成績を収める
〃	11月1日	佐賀分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成5年1月1日表彰旗が授与された
○平成	5年10月31日	中六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成6年1月1日表彰旗が授与された
○平成	6年5月1日	団長 衣川 武 就任
〃	8月30日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団が出場し、準優勝の成績を収める
〃	10月30日	雲原分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成7年1月1日表彰旗が授与された
○平成	7年11月12日	金山分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成8年1月1日表彰旗が授与された
○平成	8年7月1日	消防団員アルミックス防火衣を129着分支給
〃	7月25日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団が出場し、奨励賞の成績を収める
〃	10月13日	中央分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成9年1月1日表彰旗が授与された
○平成	9年9月1日	消防団員アルミックス防火衣を185着分支給
〃	10月12日	市制60周年（団発足50周年）記念事業（消防フェア福知山）開催
○平成	10年8月7日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に大正分団が出場
〃	12月10日 ～21日	消防団に関する意識調査実施
○平成	11年7月1日	福知山市消防団活性化対策検討委員会規約制定
〃	9月9日	「より魅力ある消防団へ」検討委員会発足
○平成	12年5月1日	団長 井上重典 就任
〃	8月6日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に金谷分団が出場し、第5位の成績を収める

〇平成13年10月1日	アポロキャップを購入し、全団員に貸与 「ふくちやまファイヤーエンジェルス」福知山消防カラーガード隊17人、 福知山消防ファイヤーガード隊13人で発足
〇平成14年1月24日	「ふくちやまファイヤーエンジェルス」京都府知事を表敬訪問
〃 5月1日	団長 野田和則 就任
〃 8月4日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に雲原分団が出場
〃 10月27日	京都府知事優良消防団表彰調査を受検し平成15年2月2日に表彰旗が授与された
〇平成15年11月20日	自治体消防55周年記念大会参加
〇平成16年5月1日	団長 岸田正一 就任
〃 8月1日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に庵我分団が出場
〇平成18年1月1日	一市三町合併により、三和町消防団、夜久野町消防団及び大江町消防団を統合、新しい「福知山市消防団」となる 【消防団の勢力】 団 長 岸田正一  団本部ほか29分団、定員2,160人、実員2,065人 消防ポンプ自動車 12台 小型動力ポンプ付積載車 11台 小型動力ポンプ付軽積載車 77台 小型動力ポンプ 89台
〃 8月6日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、大正・川合・下夜久野・河西分団が出場
〇平成19年10月14日	市制施行70周年、福知山市消防団発足60周年及び救急業務運用開始40周年記念事業（消防防災フェア）開催
〇平成20年4月1日	団長 足立秀幸 就任



消防団員・消防団車両配置表

(平成20年4月1日)

ブロック	分団名	人 員											車 両 等			
		計	団長	※副団長	分団長	副分団長	本部長	指導部長	本部班長	部長	班長	団員	ポンプ車	積載車	軽積載車	小型ポンプ
	団本部	28	1	6		1						20				
中部	中央	73		(1)	1	1	1	1	2	6	12	49	2	4		
	大正	46			1	1	1	1	1	3	6	32	1	2		
	庵我	74			1	1	1	1	1	3	7	59		3		
	修斉	90			1	1	1	1	1	4	11	70		4	1	
	上豊	93			1	1	1	1	1	3	7	78		3		
東部	雀部	56		(1)	1	1	1	1	1	3	3	45		3		
	西中	82			1	1	1	1	1	3	5	69		4	1	
	上六	52			1	1	1	1	1	3	6	38		3		
	中六	53			1	1	1	1	1	3	6	39		3		
	下六	76			1	1	1	1	1	4	5	62		4	1	
	佐賀	47			1	1	1	1	1	2	4	36		2		
北部	下川	63		(1)	1	1	1	1	1	3	6	49		3		
	上川	73			1	1	1	1	1	3	6	59	1	2		
	金谷	62			1	1	1	1	1	2	6	49		2		
	三岳	61			1	1	1	1	1	2	6	48		2		
	金山	59			1	1	1	1	1	3	6	45		4		
	雲原	42			1	1	1	1	1	2	3	32	1	1		
三和	菟原	102		(1)	1	1	1	1	1	4	4	89	1	3		
	細見	111			1	1	1	1	1	5	6	95	1	4		
	川合	41			1	1	1	1	1	3	3	30	1	2		
夜久野	上夜久野	87		(1)	1	1	1	1	1	4	9	69	1	5		
	中夜久野	62			1	1	1	1	1	3	6	48	1	2		1
	下夜久野	89			1	1	1	1	1	5	10	69	1	5		
大江	河守	84		(1)	1	1	1	1	1	4	11	64		2	2	
	河守上	68			1	1	1	1	1	4	6	53		1	3	
	河西	41			1	1	1	1	1	3	5	28		1	1	
	河東	61			1	1	1	1	1	2	7	47		1	1	
	有路上	57			1	1	1	1	1	3	3	46		2	1	
	有路下	53			1	1	1	1	1	4	3	41		1	1	
計		1,986	1	6	29	30	29	29	30	96	178	1,558	11	78	12	1

※ 団本部の副団長は、各ブロックを担当

年齢別消防団員数

(平成20年4月1日)

年齢別	合計	平均	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上
人員	1,986	37.5	3	260	940	727	55	1

在職年数別消防団員数

(平成20年4月1日)

年数別	合計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
人員	1,986	593	428	462	236	201	60	6

# 水防



平成19年 防災訓練

## 水防の概要

本市における水害として、由良川・土師川等の破堤・溢流による外水氾濫と、由良川への雨水排除ができない場合に生じる内水氾濫があります。福知山市が位置する福知山盆地は、非常に低く由良川と牧川の合流点付近では標高 12mに過ぎません。したがって、由良川等の堤防が決壊した場合には、本市全域にわたる広い範囲で外水による浸水被害が生じる危険があります。このような破堤による外水氾濫では、水位が急激に上昇するため、人的被害及び建物被害等が生じる危険性が高く、更に水位が下がるまでに長時間を要し、破堤箇所が修復されるまで再度浸水する危険にさらされるなど、被害の拡大が予想されます。

一方、内水氾濫の被害が起こりうるのは、河川の氾濫などでできた低地地形や回りから水が集まりやすい凹地などです。すなわち低地の微地形でいうと、谷底平野、氾濫平野、後背湿地、旧河道などです。このような地形では雨水が集まりやすく、水害の危険性は最も高くなります。しかし、支流和久川改修、法川排水機場の完成等によって、内水氾濫はほぼ解消され、また、本川の築堤や掘削も着々と進み、市民の水害から免れたいという悲願は実りつつあります。

しかしながら、平成 16 年の台風 23 号では、10 月 19 日より断続的に降り始めた雨により総雨量 279 mmに達し、由良川の水位も上昇し、20 日の 15 時には指定水位の 2 mを、17 時には警戒水位の 4 mを突破し、22 時 20 分には、最高水位 7 m55cm を記録しました。このような状況下において、農村部では河川の氾濫や堤防の欠損・溢水が起こり、家屋・耕地・主要道路の浸水などの被害が多く出るとともに、山間部においては崖崩れが生じました。

### 【主な水害の記録】

明治 29 年 8 月 31 日	水 位 7.88m	倒壊流失家屋	371 戸	死傷者 200 名
明治 40 年 8 月 26 日	水 位 8.48m	倒壊流失家屋	350 戸	
大正 10 年 9 月 26 日	水 位 7.36m	倒壊流失家屋 浸水家屋	67 戸 3,058 戸	死傷者 7 名
昭和 5 年 8 月 1 日	水 位 7.12m	倒壊流失家屋 浸水家屋	30 戸 3,006 戸	
昭和 20 年 10 月 9 日 (阿久根台風)	水 位 6.00m 総雨量 95.0mm	倒壊流失家屋 浸水家屋	111 戸 5,083 戸	死傷者 5 名
昭和 28 年 9 月 25 日 (台風 13 号)	水 位 8.10m 総雨量 254.3mm	倒壊流失家屋 浸水家屋	1,664 戸 3,836 戸	死傷者 792 名
昭和 34 年 9 月 26 日 (伊勢湾台風)	水 位 7.10m 総雨量 243.0mm	倒壊流失家屋 浸水家屋	113 戸 5,117 戸	負傷者 26 名
昭和 36 年 9 月 16 日 (第二室戸台風)	総雨量 43.0mm	倒壊家屋 浸水家屋	76 戸 19 戸	死傷者 9 名
平成 16 年 10 月 20 日～ 21 日 (台風 23 号)	水 位 7.55m 総雨量 279.0mm	倒壊家屋 (半壊、一部損壊) 浸水家屋	63 戸 844 戸	

水防組織と機構

水防本部長（市長）
水防副本部長（副市長）

消防部は、消防本部及び消防団本部をもって指揮班、消防署及び消防団をもって水防班を編成し、各分団は水防中隊とする。

消防部

1 指揮班（本部）

- (1) 災害の予防対策
- (2) 災害情報の収集
- (3) 災害信号の発令及び周知
- (4) 被害状況の速報
- (5) 市防災無線の運用
- (6) 災害の場合における消防団活動の調整及び指示

2 水防班（消防署、消防団）

- (1) 災害の場合における消防団活動の調整及び指示
- (2) 避難者の誘導
- (3) 人命及び財産の保護
- (4) 不明者の捜索
- (5) 水防作業員資材及び避難者の輸送運搬
- (6) 水防資材の整備及び調査
- (7) 消防資材及び施設の整備点検

